	基本目標施策の方向性			事業				
	基 本日標		施束の方向性 ;		事業名	ページ	担当課	
			子どもから高齢者まで、ライフス	★ 1	健康情報のポスター作成	1		
			テージに応じて,生活習慣病や健康に関する正しい知識を身に	★ 2	健康講座	2		
			つける	3	個別相談	3		
				★2(再)	健康講座	4		
		1-2	自らの健康に関心を持つ(自らの健康状態を把握する)	3(再)	個別相談	5		
				4	子どもの歯を守る連絡会	6		
				5	健康診査(30歳代、生保 等)	7		
	健康意識を高め、生			6	特定健康診査(国民健康 保険、40歳以上)	8		
1	活習慣病の発症と重症化を予防する			7	後期高齢者医療健康診 査	9	健康推進課	
	,			8	人間ドック健診(30歳以 上)	10		
				9	特定保健指導	11		
			自らの健康状態を把握するため に行動を起こす	★10	がん検診	12		
				11	骨粗しょう症検診	13		
				12	結核検診	14	.]	
				13	肝炎ウィルス検診	15	<u>;</u>	
				★14	歯科健診	16	5	
				★ 15	40歳検診勧奨事業	17		

	基本目標		施策の方向性		分野		事業		
-	至个口际		ルに木のカバコに		71 =1	通番	事業名	ページ	担当課
						★1(再)	健康情報のポスター作成	18	健康推進課
						★2(再)	健康講座	19	健康推進課
						16	「天平メニュー・国分寺ごはん」の 活用	20	健康推進課
						17-a		21	健康推進課
						17-b	栄養講座・食育講座	22	公民館課
						17-c		23	子育て相談室(子ども家庭支援センター)
						18	個別栄養相談		健康推進課
						19	離乳食講習会	25	健康推進課
						★20	両親学級・乳幼児健診など母子保 健事業での情報提供	26	健康推進課
						21	若い世代への食の情報提供チラシ配布	27	健康推進課
							一般介護予防事業	28	高齢者相談室
							高齢者配食サービス事業		高齢者相談室
							摂食指導	30	子育て相談室(子どもの発達
				2-1-1	食育·栄養·食生活「国分寺市食		給食を通じた乳幼児期の食育指導		子ども子育て事業課(保育
					育推進計画」		保育園内における野菜等の栽培		図) 子ども子育て事業課(保育
							芋ほり等の農業体験		園) 子ども子育て事業課(保育 園)
							給食地域交流会	34	子ども子育て事業課(保育
							①市民農園		経済課
							②市民農園大学 援農ボランティア募集		経済課
							直売所マップの配布		経済課
							地場野菜の周知		経済課
							地場野采の周知 農業体験		経済課
							農業体験農園		経済課
							農業祭		経済課
							JA協賛調理教室	42	経済課 子ども子育て事業課(児童
							児童館の料理教室		(語)
							食育指導		学務課 子育て相談室(子ども家庭支
						★39-a	運動講座		子育て相談室(子ども家庭支援センター)
						★39-b	₽ ₽ .1. ₽ 		健康推進課
							グループサークル団体登録 プレイステーション整備・運営(野		社会教育課
							外活動)		社会教育課
							スポーツ大会開催		スポーツ振興課
健康的	か生活習慣を負に		すべての人がより良	0	自任任私 四至		スポーツ推進委員によるイベント		スポーツ振興課
世界的つける		は生活習慣を身に 2-1 い生活習慣を身につけるための支援 2-1	2-1-2	身体活動·運動		一般介護予防事業		高齢者相談室	
							地域生きがい交流事業		高齢者相談室
						45-a			健康推進課
						45-b			スポーツ振興課
							体育館等個人開放・団体貸出し		公民館課
						45-d			地域福祉課
						45-е		57	協働コミュニティ課

基本目標	施策の方向性		分野		事業				
至小口脉	過失のババエ		73 ±1	通番	事業名	ページ	担当課		
				46	①かるがも相談 ②フリートーキング	58	子育て相談室(子ども家庭支援センター)		
					メンタルヘルス講座	59	健康推進課		
		2-1-3	こころの健康・休	★48	メンタルヘルスチェックシステム「こ ころの体温計」	60	健康推進課		
		2 1 0	養・睡眠	49	心の健康相談(精神保健相談)	61	健康推進課		
				50	妊産婦新生児訪問	62	健康推進課		
					ゲートキーパー養成講座	63	健康推進課		
				52	まとう会(アルコール関連問題保健 看護勉強会)	64	健康推進課		
		2-1-4	飲酒	1	アルコール個別相談	65	健康推進課		
			7/10	★54	両親学級(妊娠中の飲酒のリスク を情報提供)	66	健康推進課		
				★55	16 競 是 伍	67	健康推進課		
		2-1-5	喫煙	★56	喫煙のリスクや禁煙外来について の情報提供	68	健康推進課		
		2 1 3		★ 57	両親学級(妊娠中の飲酒のリスク を情報提供)	69	健康推進課		
				★14(再)	歯科健診	70	健康推進課		
					口腔機能向上健診(咬合力測定)	71	健康推進課		
				★59	①乳幼児・2歳児歯みがきクラス ②成人講座	72	健康推進課		
				60	歯科医療連携推進事業	73	健康推進課		
				61	個別歯科相談	74	健康推進課		
				62	歯と口の健康週間事業	75	健康推進課		
				4(再)	子どもの歯を守る連絡会	76	健康推進課		
		2-1-6	歯と口の健康	★15(再)	40歳検診勧奨事業	77	健康推進課		
				22(再)	一般介護予防事業	78	高齢者相談室		
				63-a		79	子ども子育て事業課(保育 園)		
				63-b	歯科健診		学務課		
				63-c			子育て相談室(子どもの発達 センターつくしんぼ)		
				64	ほけんだよりの活用		子ども子育て事業課(保育園)		
				65-a		83	子ども子育て事業課(保育 園)		
				65-b	歯みがき指導		学務課		
				65-c		85	子育て相談室(子どもの発達 センターつくしんぼ)		

	基本目標		施策の方向性		事業					
	基 中日 惊		他来の万円性	通番	事業名	ページ	担当課			
				66	すくすくこくぶんじ	86	子ども子育て事業課(保育園)			
					①職場体験 ②センターまつり ③クリスマス会 ④小学生社会 科見学 ⑤はあとマーケット	87	子育て相談室(子ども家庭支援センター)			
				68	ファミリー・サポート・センター事業の広報活動	88	子ども子育てサービス課			
				69−a	出前講座		健康推進課			
		3–1	地域のつながり強化	69-b	出前講座	90	子ども子育て事業課(保育 園)			
				69-c	出前講座	91	高齢者相談室			
				70	地域•団体交流会	92	協働コミュニティ課			
				71	自治会·町内会連絡会	93	協働コミュニティ課			
				72	地域センターまつり(5館)	94	協働コミュニティ課			
					内藤地域センターだよりの発行	95	協働コミュニティ課			
3	地域の中で健康づくりを活 性化する			74	自主グループとの連携、社協と の連携	96	高齢者相談室			
				75	地域センター登録団体の管理	97	協働コミュニティ課			
				76	利用者協議会や交流会	98	協働コミュニティ課			
				★ 77	市民活動フェスティバル	99	協働コミュニティ課			
		3-2	 地域での健康づくり活動の支援	78	スポーツ登録団体の管理	100	スポーツ振興課			
			2000年77日初の人派				45(再)-a		101	健康推進課
				45(再)-b		102	スポーツ振興課			
				45(再)-c	体育館等個人開放・団体貸出し	103	公民館課			
				45(再)-d		104	地域福祉課			
				45(再)-e		105	協働コミュニティ課			

	基本目標		施策の方向性		事業		
	基本日 標	一		通番	事業名	ページ	担当課
				79		106	各課(健康推進課)
				79		107	各課(子ども子育て事業課)
			対象者・年齢層に応じた情報の発信	79	情報発信	108	各課(高齢者相談室)
4	適切な情報を得られる環 境づくりをすすめる		4-2 社会状況やニーズに応じた適切 な情報内容			109	各課(子育て相談室)
				79		110	各課(社会教育課)
				80	桂扣住 44	111	健康推進課
			80(2)			協働コミュニティ課	

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	 1-1子どもから高齢者まで,ライフステージに応じて,生活習慣病や健康に関する正しい知識を身につける
施策の目標	生活習慣病や健康に関する正しい知識を身につける

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
健康に悪影響を与えないようにするために、 どのような食品を選んだ方が良いかや、どの ような調理が必要かについての知識がある 人の割合『十分に・どちらかといえば知識が ある』	68.3%		『どちらかといえばない』と答えた人の半数が「知識がある」となった場合の数値

今後の方向性・取組

子どもから高齢者まで、ライフステージに応じて生活習慣や健康に関する正しい知識を身に付けられるよう、市広報等従来の手段における啓発を充実するとともに、駅や商業施設等との提携や情報通信メディアなどの活用など、日常生活の中で市民が健康に関する情報に触れられる機会の充実を検討していく。

通番	★ 1	所管課		健康推進詞	果 ————————————————————————————————————			
事業名	健康情報のポスター作成							
事業概要	市内薬局等に健康講座や,食育などの情報をポスターにて掲示し,市民に広く周知する。							
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (世間では、の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (共 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	市内薬局への聞き取りを検討							
	未実施		<u> </u>					
平成26年度 (現状値)	平成27年度	平成28年度	実 績 平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)		
未実施	市内薬局43か所に 前期. 後期に1種類 ずつ掲示。					市内全薬局に1年間, 2種類のポス ターを掲示		
「働き盛り」世代等 への取組	未実施							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況		
今後の課題	掲示箇所を増やしていく							
前期計画(平成27〜3 度)の取組	前期計画(H27〜3 取組に対する評 :1年		『(H27~31)の取組手法	に対する評価を踏まえ, 1	後期計画 (H32~36) に反	映すべきこと		

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-1子どもから高齢者まで,ライフステージに応じて,生活習慣病や健康に関する正しい知識を身につける
施策の目標	生活習慣病や健康に関する正しい知識を身につける

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
健康に悪影響を与えないようにするために、 どのような食品を選んだ方が良いかや、どの ような調理が必要かについての知識がある 人の割合『十分に・どちらかといえば知識が ある』	68.3%		『どちらかといえばない』と答えた人の半数が「知識がある」となった 場合の数値

今後の方向性・取組

子どもから高齢者まで、ライフステージに応じて生活習慣や健康に関する正しい知識を身に付けられるよう、市広報等従来の手段における啓発を充実するとともに、駅や商業施設等との提携や情報通信メディアなどの活用など、日常生活の中で市民が健康に関する情報に触れられる機会の充実を検討していく。

通番	★ 2	所管課		健康推進	課				
事業名	健康講座	•							
事業概要	生活習慣病予防や生 託児付講座や土日開	生活習慣病予防や生活習慣改善に関する講座を実施する。 毛児付講座や土日開催など,対象者の参加しやすい工夫・テーマを取り入れて行う。							
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)			
取組区分の実績	■知識習得・情報提供■意欲の形成■スキルの習得口仲間づくり□受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □スキルの習得 □ハ帯でり □ 中間づくり □受け皿づくり			
モニタリング方法 と実施	参加者へアンケート								
	実施		実績						
平成26年度 (現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)			
・健康講座 年8回 ・食育講座 年3回						・健康講座 年8回以上 ・食育講座 年3回以上			
「働き盛り」世代等 への取組	託児付きや参加しや すい土日に開催								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況			
今後の課題	講座開催の周知方法 についてさらに工夫し ていく。								
	前期計画(H27~3		■(H27~31)の取組手法	に対する評価を踏まる(後期計画(H32~36)/= 5				
前期計画(平成27〜3 度)の取組	取組に対する評	価 BU 75/161 E	TA STANDER	177.7 ODI IM C M 6 A. 1	EMINIE (102 00) EM				

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-1子どもから高齢者まで,ライフステージに応じて,生活習慣病や健康に関する正しい知識を身につける
施策の目標	生活習慣病や健康に関する正しい知識を身につける

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
健康に悪影響を与えないようにするために、 どのような食品を選んだ方が良いかや、どの ような調理が必要かについての知識がある 人の割合『十分に・どちらかといえば知識が ある』	68.3%	NV. UX	『どちらかといえばない』と答えた人の半数が「知識がある」となった 場合の数値

今後の方向性・取組

子どもから高齢者まで、ライフステージに応じて生活習慣や健康に関する正しい知識を身に付けられるよう、市広報等従来の手段における啓発を充実するとともに、駅や商業施設等との提携や情報通信メディアなどの活用など、日常生活の中で市民が健康に関する情報に触れられる機会の充実を検討していく。

通番	3	所管課		健康推進記	 果				
事業名	個別相談	_							
事業概要	電話・面接・訪問等による個別相談(保健・栄養・歯科)を実施。								
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)			
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 (円) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり			
モニタリング方法 と実施	相談後の反応								
	実施								
平成26年度			実 績			平成31年度			
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)			
保健相談:126件(うち生活習慣病:12件) 栄養相談:54件 歯科相談:30件	保健相談:169件(う ち生活習慣病:15件) 栄養相談:35件 歯科相談:51件					継続して実施			
「働き盛り」世代等 への取組									
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況			
今後の課題	相談から実際に改善に つなげていくまでのプロ セスが課題である。								
前期計画(H27~31)の 前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと					ロロナベキート				
前期計画(平成27〜3 度)の取組	取組に対する評	価・一切対抗し	9(日27~31)の収配子法	こ刈りの計画で始まん。1	灰州計 □ (□32~30 /1こ)X	吹り へさ こ と			

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-2自らの健康に関心を持つ(自らの健康状態を把握する)
	健康寿命を延ばす 定期的に健康をチェックするためにかかりつけ医療機関を持つ

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
健康寿命という言葉を知っている人の割合 『言葉も意味も知っていた』	38.9%		健康寿命という言葉・意味を知っていて初めて健康寿命を延ばす行動がとれるため、ほとんどの人が知っている数値を目標とする
「かかりつけ」歯科医を持っている人の割合	49.1%	80%	ほとんどの人が定期的に歯と口の健康をチェックしている数値
「かかりつけ」医師を持っている人の割合	61.1%	67%	現状値よりも10%増やす

今後の方向性・取組

市民が健康寿命の意味について知り,健康づくりの行動を起こすようにするため,まず言葉の周知を行っていきます。 自らの健康に関心を持つことができるよう,具合が悪い時だけではなく日常的なヘルスチェックを行う習慣を小さい頃から身につけるための啓発を 行っていきます。

通番	★2(再)	所管課 健康推進課							
事業名	健康講座	·							
事業概要	生活習慣病予防や生 託児付講座や土日開	生活習慣病予防や生活習慣改善に関する講座を実施する。 託児付講座や土日開催など,対象者の参加しやすい工夫・テーマを取り入れて行う。							
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)			
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 ■ スキルの習得 □ 中間づくり □ 受け皿づくり	□知識習得・情報供 □意欲の形成 □意欲の形成 □へキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	提 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □ □ 受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり			
モニタリング方法 と実施	参加者へアンケート								
	実施								
平成26年度	実績					平成31年度			
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)			
・健康講座 年8回 ・食育講座 年3回						·健康講座 年8回以上 ·食育講座 年3回以上			
「働き盛り」世代等 への取組	託児付きや参加しや すい土日に開催								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況			
今後の課題	講座開催の周知方法 についてさらに工夫し ていく。								

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-2自らの健康に関心を持つ(自らの健康状態を把握する)
	健康寿命を延ばす 定期的に健康をチェックするためにかかりつけ医療機関を持つ

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
健康寿命という言葉を知っている人の割合 『言葉も意味も知っていた』	38.9%		健康寿命という言葉・意味を知っていて初めて健康寿命を延ばす行動がとれるため、ほとんどの人が知っている数値を目標とする
「かかりつけ」歯科医を持っている人の割合	49.1%	80%	ほとんどの人が定期的に歯と口の健康をチェックしている数値
「かかりつけ」医師を持っている人の割合	61.1%	67%	現状値よりも10%増やす

今後の方向性・取組

市民が健康寿命の意味について知り、健康づくりの行動を起こすようにするため、まず言葉の周知を行っていきます。 自らの健康に関心を持つことができるよう、具合が悪い時だけではなく日常的なヘルスチェックを行う習慣を小さい頃から身につけるための啓発を 行っていきます。

通番	3(再)	所管課		健康推進	課			
事業名	個別相談							
事業概要	電話・面接・訪問等による個別相談(保健・栄養・歯科)を実施。							
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	相談後の反応							
	実施							
平成26年度			実 績			平成31年度		
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)		
保健相談:126件(うち生活習慣病:12件) 栄養相談:54件 歯科相談:30件	保健相談:169件(う ち生活習慣病:15件) 栄養相談:35件 歯科相談:51件					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況		
今後の課題	相談から実際に改善に つなげていくまでのプロ セスが課題である。							
		1) Ø						
前期計画(H27~31)の 取組に対する評価 前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと								

前期計画(平成27~31年 度)の取組

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-2自らの健康に関心を持つ(自らの健康状態を把握する)
	健康寿命を延ばす 定期的に健康をチェックするためにかかりつけ医療機関を持つ

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
健康寿命という言葉を知っている人の割合 『言葉も意味も知っていた』	38.9%	811%	健康寿命という言葉・意味を知っていて初めて健康寿命を延ばす行動がとれるため、ほとんどの人が知っている数値を目標とする
「かかりつけ」歯科医を持っている人の割合	49.1%	80%	ほとんどの人が定期的に歯と口の健康をチェックしている数値
「かかりつけ」医師を持っている人の割合	61.1%	67%	現状値よりも10%増やす

今後の方向性・取組

市民が健康寿命の意味について知り、健康づくりの行動を起こすようにするため、まず言葉の周知を行っていきます。 自らの健康に関心を持つことができるよう、具合が悪い時だけではなく日常的なヘルスチェックを行う習慣を小さい頃から身につけるための啓発を 行っていきます。

通番	4	所管課		健康推進	課				
事業名	子どもの歯を守る連絡会								
事業概要	市、関係機関等が連携	隽し「子どもの歯とロ <i>の</i>)健康づくり」に関するタ	効果的な事業の推進を	図るための検討や協語	議を行う。 			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)			
取組区分の実績	■知識習得・情報提 供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり			
モニタリング方法 と実施	小学生4年生保護 者・中学2年生対象 にアンケート								
	実施								
平成26年度	実 績								
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)			
年2回開催	年2回開催。「子どもの歯科保健推進計画」に基づき関係部署が実施した取組の報告や情報交換。た次年度の取組を効果的に実施するための提言や平成28年~30年の新しい計画についての協議・検討					年2回開催			
「働き盛り」世代等 への取組									
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況			
今後の課題	関係機関が子どもの歯 科保健を効果的に進め られるよう連絡会の働 きを明確にする。								
	前期計画(H27~3	1) 0 ++====	-/N - -	,	// #B51 T5 / 100	-n4_4			

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標	1 健康意識を高	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する					
施策の方向性	1-3自らの健康状	態を把握するために	行動を起こす				
施策の目標	定期的に健康診	査を受診する					
	指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)		考え方		
最近1年以内に健	康診査を受けた人の害	刊合 80.4%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値			
			今後の方向性・取	組			
自らの健康状態を	自らの健康状態を把握するために行動を起こせるよう,健(検)診の受診勧奨をより一層進め,早期発見・早期治療に結びつけていきます。						
通番	5	所管課		健康推進			
事業名	名 健康診査(30歳代、生保等)						
事業概要	疾病の早期発見を目的とし、30歳から39歳までの市民を対象に健康診査を実施する。						
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 悪意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	型 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	市民アンケート						
	未実施		中体				
平成26年度 (現状値)	平成27年度	平成28年度	実績 平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)	
受診率2.73% 対象者数17.550人 受診数479人	受診率2.60% 対象者数17.186人 受診者数448人 (30歳代健診)					受診率2.73%以上 (平成26年度受診 率以上)	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況	
今後の課題	周知・募集方法の見直 し。						
	前期計画(H27~3		回(H27~31)の取組手		後期計画(H32~36)に反	え映すべきこと	
前期計画(平成27〜3 度)の取組	取組に対する評	ш					

基本目標	1 健康意識を高	が, 生活習慣病の発	症と重症化を予防する	გ			
施策の方向性	1-3自らの健康状	: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	行動を起こす				
施策の目標	定期的に健康診	査を受診する					
		平成26年(現状値)	平成36年(目標値)		 考え方		
最近1年以内に健	最近1年以内に健康診査を受けた人の割合		95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値			
			今後の方向性・取	組			
自らの健康状態を	自らの健康状態を把握するために行動を起こせるよう,健(検)診の受診勧奨をより一層進め,早期発見・早期治療に結びつけていきます。						
通番	通番 6 所管課 健康推進課						
事業概要	特定健康診査(国民健康保険、40歳以上) 						
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	型 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	市民アンケート						
T - 10 - 6 - 1	11.54.2		実 績			T-\$0.55	
平成26年度 (現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)	
受診率41.0% 対象者数20,288人 受診見込数8,318人	受診率41.33% 対象者数19,860人 受診見込数8,209人					受診率60.0%以上 (第2期国分寺市特 定健康診査等実施 計画平成29年度目 標値)	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況	
今後の課題	受診環境・周知方法の 見直し。						
	前期計画(H27~3		fi(H27~21) 介町組≠;	法に対する評価を踏まえ、	後期計画(H32~26)1~F	5肿すべきこと	
前期計画(平成27~3 度)の取組	取組に対する評	価	3、1127 317の双和士	(A) 7 VBT M	区列日 图 (1102·300)[C])	CWA 7 CCC	

	基本目標		1 健康意識を高	め, 生活習慣:	病の発症	症と重症化を予防す <i>。</i>	გ		
	施策の方向性		1-3自らの健康状	態を把握する	ために	行動を起こす			
	施策の目標		定期的に健康診	査を受診する					
		指	標	平成26年((現状値)	平成36年(目標値)		考え方	
	最近1年以内に健	近1年以内に健康診査を受けた人の割合			4 %	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値		
						今後の方向性・取	組		
	自らの健康状態を把握するために行動を起こせるよう,健(検)診の受診勧奨をより一層進め,早期発見・早期治療に結びつけていきます。								
	通番		7	所管課			健康推進		
		後 期					IXIA IEXE		
	事業 概更	後期	期高齢者医療健康診査 期高齢者医療制度加入者(主に75歳以上)を対象として、病気の早期発見・早期治療を目的として、特定健康診査と同等内容の 診を実施する。						
			平成27年度	平成28年	度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
	取組区分の実績	供■□□□	識習得・情報提 欲の形成 キルの習得 *間づくり :け皿づくり	□知識習得・・ 供 □意欲の形成 □スキルの習 □仲間づくり □受け皿づく	t 得	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供■意欲の形成□スキルの習得□仲間づくり□受け皿づくり
	モニタリング方法 と実施	ī	市民アンケート 未実施						
			小 夫旭			<u> </u>			
	平成26年度 (現状値)		平成27年度	平成28年	度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)
	受診率52.10% 対象者数12,145人 診見込数6,328人	対象							受診率55.0%以上 (平成26年度健康 診査推進計画、東 京都後期高齢者医 療広域連合平成27 年度目標値)
Γ	働き盛り」世代等 への取組								
	各年度末までの 進捗状況評価	目相	票どおり進行して いる。						前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
	今後の課題	周知	方法の見直し。						
			前期計画(H27~3		前担計画	〒(H27~21) 介町組 年:	法に対する評価を踏まえ.	後期計画(H32~26)/= F	が映すべき ニレ
Ē	前期計画(平成27~3 度)の取組	1年	取組に対する評	価 '	ום נעד נים 🏻	4 (1127 - 017) の 4X作 <u>日子</u> 7	AI〜A) 7 VOT M C 四 A A A A A	(1102 307][二]	

_							
	基本目標	1 健康意識を高	ぶめ, 生活習慣病の発	症と重症化を予防する	శ		
	施策の方向性	1-3自らの健康状	忧態を把握するために	行動を起こす			
	施策の目標	定期的に健康診	査を受診する				
			平成26年(現状値)	平成36年(目標値)		 考え方	
	最近1年以内に健康診査を受けた人の割合						
				今後の方向性・取	組		
	自らの健康状態を	把握するために行動る	を起こせるよう, 健(検)診の受診勧奨をより	J一層進め, 早期発見・5	早期治療に結びつけて	いきます。
	通番	8	所管課		健康推進	 課	
	事業名	人間ドック健診(30歳)	以上)				
	事業概要	生活習慣病の予防及	び早期発見・早期治療	寮を目的とし、30歳以	上の市民を対象として傾	診を実施する。	
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
	取組区分の実績	■知識習得・情報提供 ●意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報技 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	是 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
	モニタリング方法 と実施	市民アンケート					
		未実施					
	平成26年度		1	実 績			平成31年度
	(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
	受診者数606人	受診者数676人					受診者数606人以 上(平成26年度受 診者数以上)
Γ	働き盛り」世代等 への取組						
	各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
	今後の課題	申込み方法の見直し。					
				町(山27~21) の冊:织子:	キに対する証価を吹する	後期計画(U22~26) [= 5	こいけべき こし
Ē	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価 前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと 前期計画(平成27~31年度)の取組 (平成27~31年度)の取組					(IN) TOLC	

基本目標	1 健康意識を高		ニューロップ	3		
施策の方向性	1-3自らの健康状	代態を把握するために	行動を起こす			
施策の目標	定期的に健康診	査を受診する				
	指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)		考え方	
最近1年以内に健	最近1年以内に健康診査を受けた人の割合		95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値		
			今後の方向性・取	組		
自らの健康状態を	・把握するために行動な	を起こせるよう, 健(検.)診の受診勧奨をより	J一層進め, 早期発見・5	期治療に結びつけて	いきます。
通番	9	所管課		健康推進		
		и вих		ICA ILC.	W.	
学术位	行足床庭拍等					
事業概要		、内臓脂肪症候群の予 を援と積極的支援に分 		要のある者を対象として	、生活習慣改善の保優 -	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供□意欲の形成□スキルの習得□仲間づくり□受け皿づくり□受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	アンケートの実施					
	実施					
平成26年度		T	実績	T	T #04 F #	平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
特定保健指導実施 率19.24%(平成25年 度)	特定保健指導実施 率19.6%					特定保健指導実施 率60.0%以上(第2 期国分寺市特定健 康診査等実施計画 における平成29年 度目標値)
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	周知方法や再募集の 工夫を行い、受診率を 高めていく必要がある。					
	前期計画(H27~3		■(H27~31)の取組手	去に対する評価を踏まえ、	後期計画(H32~36)にR	し 映すべきこと
前期計画(平成27〜3 度)の取組	<u>取組に対する評</u> 81年	1ш				

基本目標	1 健康意識を高	が, 生活習慣病の発	症と重症化を予防す				
施策の方向性	1-3自らの健康状	態を把握するために	行動を起こす				
施策の目標	定期的に健康診	査を受診する					
	 指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)		 考え方		
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合		계合 80.4%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値			
			今後の方向性・取	組			
自らの健康状態を	自らの健康状態を把握するために行動を起こせるよう,健(検)診の受診勧奨をより一層進め,早期発見・早期治療に結びつけていきます。						
通番	★ 10			健康推進	 課		
事業名							
事業概要	各種がんの早期発見 胃・肺・大腸がんは40	・ん検診 種がんの早期発見・早期治療を目的とした検診。 ・肺・大腸がんは40歳以上対象。 がんは40歳以上(2年に1回)対象。子宮がんは20歳以上(2年に1回)対象。					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 悪意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	配 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	市民アンケート						
	不关心						
平成26年度					亚芹21年中	平成31年度	
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)	
受診者数 胃がん1,826人 肺がん2,748人 大腸がん14,643人 乳がん2,265人 子宮がん2,760人	受診者数 胃がん1,780人 肺がん 2,782人 大腸がん14,553人 乳がん2,334人 子宮がん2,607人					平成26年度受診者 数以上	
「働き盛り」世代等 への取組	土日実施(胃がん検診), 医療機関により 土曜実施(子宮がん 検診)						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況	
今後の課題	周知・募集方法の見直し。						
	前期計画(H27~3		fi(H27~31)の歌紀手:	法に対する評価を踏まえ、	後期計画(H22~26)!==	5仲ナベキニレ	
前期計画(平成27~3 度)の取組	取組に対する評 11年	価 前地物制度	三、いと)では、カリックスを担子。	☆ :~ ^ : 7 : 0 BT 脚 で 晒 み ん . [*]	(1102·400)[二])	7 7666	

	基本目標	1 健康	意識を高め	生活習慣病の発症	虚と重症化を予防す	გ		
	施策の方向性	1-3自ら	の健康状態	を把握するために行	行動を起こす			
	施策の目標 定期的に健康診査を受診する							
		指標		平成26年(現状値)	平成36年(目標値)		考え方	
	最近1年以内に健康診査を受けた人の割合			80.4%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値		
	今後の方向性・取組							
	自らの健康状態を	・把握するため	た行動を起	こせるよう, 健(検)	診の受診勧奨をより	J一層進め, 早期発見・5	早期治療に結びつけて	いきます。
	通番	11		所管課		健康推進	理	
		骨粗しょう症		// E IX		() () () () () () () () () () () () () (1A	
	学 未行	月祖しよ力症	1失記					
	事業概要	骨粗しょう症の早期発見を目的とした検診。20歳以上の女性を対象。						
		平成274	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
	取組区分の実績	■知識習得・ 供 ■意欲の形形 □スキルの配 □仲間づくり □受け皿づく	供 或 口 3得 口	知識習得・情報提 意欲の形成 ネルの習得 仲間づくり 受け皿づくり	□知識習得・情報報 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	思しています。 世代 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
-	モニタリング方法 と実施	面接・受診額は電話にて終						
		実施	<u> </u>		- 4			
	平成26年度	- b			実績	- 0	平成31年度	平成31年度
	(現状個)	平成27	中度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	(実績値)	日標但)
	受診者386人	受診者5	86人					受診者386人以上 (平成26年度受診 者数以上)
Γ	働き盛り」世代等 への取組							
	各年度末までの 進捗状況評価	目標どおりないる。						前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
	今後の課題	受診推奨者61 果確認できた。 名と少なかった 方法の検討が	人数が7 こため,					
			回(H27~31)の 対する証価	が開計画	回(H27~31)の取組手		後期計画(H32~36)に反	え映すべきこと
育	前期計画(平成27〜3 度)の取組		対する評価					

_						
	基本目標	1 健康意識を高め、	健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する			
	施策の方向性	1-3自らの健康状態を	3自らの健康状態を把握するために行動を起こすて,生活習慣病や健康に関する正しい知識を身につける			
	施策の目標	定期的に健康診査を	定期的に健康診査を受診する			
	指標 平成26年(現状値) 平成36年(目標値) 考え方					

指標 平成26年(現状値) 平成36年(目標値) 考え方 最近1年以内に健康診査を受けた人の割合 80.4% 95.0% 全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

今後の方向性・取組

自らの健康状態を把握するために行動を起こせるよう,健(検)診の受診勧奨をより一層進め,早期発見・早期治療に結びつけていきます。

通番	12	所管課		健康推進記	果		
事業名	結核検診	桔核検診					
事業概要	結核の早期発見を目	的とした検診。18歳以	上を対象。				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □ 意次の形成 □ つキルの習得 □ 仲間づくり □ 受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □意欲の習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □意ないの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	市民アンケート						
	未実施						
平成26年度 (現状値)	平成27年度	平成28年度	実 績 平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)	
受診者31人	受診者51人					受診者31人以上 (平成26年度受診 者数以上)	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況	
今後の課題	若い世代への周知。						
前期計画(平成27~3 度)の取組	前期計画(H27〜3 取組に対する評		国(H27~31)の取組手法	に対する評価を踏まえ, 1	後期計画 (H32∼36) に反	で映すべきこと	

基本目標	1 健康意識を高		<u></u> 症と重症化を予防す	გ		
施策の方向性	1-3自らの健康状	状態を把握するために	行動を起こす			
施策の目標	定期的に健康診	査を受診する				
	指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)		考え方	
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合		削合 80.4%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値		
			今後の方向性・取	組		
自らの健康状態を	・把握するために行動す	を起こせるよう, 健(検,)診の受診勧奨をより	J一層進め, 早期発見・5	早期治療に結びつけて	いきます。
通番	13	所管課		健康推進	- =	
		別官妹		(建球推進)	沐	
事業名	肝炎ウィルス検診					
事業概要	0歳以上で、過去に一度も肝炎ウィルス検診を受診したことのない市民を対象に実施する。					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 世意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	是 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	市民アンケート					
	未実施					
平成26年度		T	実績		亚成21年度	平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
受診者917人	受診者627人					受診者917人以上 (平成26年度受診 者数以上)
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	周知・募集方法の見直し					
	前期計画(H27~3		回(H27~31)の取組手	法に対する評価を踏まえ、	後期計画(H32~36)にR	え映すべきこと
前期計画(平成27〜3 度)の取組	<u>取組に対する評</u> 81年	2価 1992年1	- CONTRACT I	ニー・ファ GMI IM C PD OV/Li	30,100	

基本目標	1 健康意識を高め、	健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する				
施策の方向性	1-3自らの健康状態を	3自らの健康状態を把握するために行動を起こす				
施策の目標	定期的に健康診査を	E期的に健康診査を受診する				
指	標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方		

指標 平成26年(現状値) 平成36年(目標値) 考え方 最近1年以内に健康診査を受けた人の割合 80.4% 95.0% 全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

今後の方向性・取組

自らの健康状態を把握するために行動を起こせるよう,健(検)診の受診勧奨をより一層進め,早期発見・早期治療に結びつけていきます。

通番	★ 14	所管課		健康推進	果		
事業名	歯科健診	密科健診					
事業概要	・乳幼児歯科健診:2歳 (希望者)を実施。 ・成人歯科健診:歯科	・妊婦歯科健診:妊婦を対象に口腔内診査・歯みがき相談を実施。 ・乳幼児歯科健診:2歳半頃の幼児及び3歳半頃の幼児を対象に口腔内診査、仕上げみがきや幼児自身の歯みがき、フッ素塗布 (希望者)を実施。 ・成人歯科健診:歯科医師会医療機関にて、20歳以上の市民対象に口腔内診査、相談を実施。 ・口腔がん検診:視診による舌やその他口腔内粘膜の炎症や傷の検査を実施。					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提 供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 世 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	妊婦・乳幼児・成人歯科 健診のアンケートでは歯 科保健行動につながる項 目を取り入れている						
	実施						
			実 績				
平成26年度			天 根			平成31年度	
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)	
受診者 ・妊婦164人 ・乳幼児(2歳半3歳 半)249人,予防処置 (フッ素塗布)233人 ・成人743人 ・口腔がん69人	受診者 ・妊婦169人 ・乳幼児(2歳半3歳 半)246人,予防処置 (フッ素塗布)217人 ・成人967人 ・口腔がん67人					平成26年度受診者 数以上	
「働き盛り」世代等 への取組	成人歯科健診については40歳対象者に は、40歳検診勧奨事 業を実施						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況	
今後の課題	ライフステージを通した 歯科保健行動につなが るよう各健診の受診者 の増加や相談内容の 充実を図る必要があ る。						
	1-24-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11						
前期計画(H27~31)の 取組に対する評価 前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと							

	取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと	
前期計画(平成27〜31年 度)の取組			

	基本目標	1 健康意識を高	高め, 生活習慣病の発症	虚と重症化を予防す	გ		
施	策の方向性	1-3自らの健康物	犬態を把握するために	行動を起こす			
方	施策の目標	定期的に健康診	査を受診する				
		指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)		考え方	
最近1:	年以内に健	康診査を受けた人の記	割合 80.4%	95.0%	全市民が1年に1回健康	診査を受けている数値	<u>ī</u>
				今後の方向性・取	組		
自らの	自らの健康状態を把握するために行動を起こせるよう,健(検)診の受診勧奨をより一層進め,早期発見・早期治療に結びつけていきます。						
ì	通番	★ 15	所管課		健康推進	理	
	業名	40歳検診勧奨事業	771 6 675		(足) (正)	14T	
#	**************************************	40 成 快 砂 初 关 尹 未					
事第	Ě概要	節目である40歳になる	る方を対象に、がん検	診、歯科健康診査に	関する個別通知により受	を診勧奨を実施。 -	
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区	分の実績	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 同意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり	■知識習得·情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
	リング方法 実施	市民アンケート					
		未実施		.			
/ +0	26年度 北値)	実 績 平成31年度 平成31年度 平成31年度			平成31年度		
(五	状但)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	(実績値)	日標但)
成26年度	,923件(平 度末年齢40)市民)	発送数1,843件					継続して実施
	り」世代等 D取組	40歳の全市民に対し 個別通知を発送。					
	末までの 状況評価	目標どおり進行している。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後	の課題	申込み方法の見直し。					
		前期計画(H27~3			法に対する評価を踏まえ、		こ映すべきこと
	可(平成27~3 夏)の取組	取組に対する評	F1III 19979111 E	- Project J			<u> </u>

I	基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
	施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
	分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」		
	施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる		

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%		国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

通番	★1(再)	所管課 健康推進課					
事業名	健康情報のポスター化	健康情報のポスター作成					
事業概要	市内薬局等に健康講	座や, 食育などの)情報をポスターにて掲示し	., 市民に広く周知する	0		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 (円) 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報供 □意欲の形成 □意ないの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	供口意欲の形成	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	市内薬局への聞き取りを検討						
	未実施						
平成26年度 (現状値)			実 績 		平成31年度	平成31年度 (目標値)	
(5/1/1世)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	(実績値)	(日保恒)	
未実施	市内薬局43か所に前期,後期に1種類ずつ掲示。					市内全薬局に1年 間, 2種類のポス ターを掲示	
「働き盛り」世代等 への取組	未実施						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況	
今後の課題	掲示箇所を増やしていく						

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年		
度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%		国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

通番	★2(再)	所管課		健康推進	 課	
事業名	健康講座					
事業概要		生活習慣病予防や生活習慣改善に関する講座を実施する。 任児付講座や土日開催など,対象者の参加しやすい工夫・テーマを取り入れて行う。				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報:供 田意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	是 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者へアンケート					
	実施					
平成26年度	実 績					
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
・健康講座 年8回 ・食育講座 年3回						・健康講座 年8回以上 ・食育講座 年3回以上
「働き盛り」世代等 への取組	託児付きや参加しや すい土日に開催					
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	講座開催の周知方法 についてさらに工夫し ていく。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」		
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる		

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%	1110/6127	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

通番	16	所管課		健康推進記	 果	
事業名	「天平メニュー・国分学	_手 ごはん」の活用				
事業概要	H26に市制50周年記:	念事業として,市栄養:	ナがメニューを開発し <i>た</i>	と。引き続きメニューを∫	周知し, 講座等に活用	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	講座でのアンケート					
	実施					
平成26年度		1	実績	平成31年度		
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
食育講座7回実施	・食育講座 年3回 ・保育園 小学校 中 学校で給食の提供 ・感想・写真の募集 ・市報 HPに掲載 ・レシピ チラシの配 架					食育講座年3回以 上
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	天平メニュー・国分寺ご はんを提供する店舗の 開拓。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年		
度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

通番	17	所管課		健康推進	 課	
事業名	栄養講座·食育講座	·				
事業概要	 17-a 食事を楽しみながら生	三活習慣病予防や生	活習慣改善を目的に、名	各種教室を開催し市民	の健康の保持・増進を	図る。 -
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報技供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成□スキルの習得□仲間づくり□受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者へのアンケート					
	実施					
平成26年度		実 績			平成31年度	
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	(実績値)	(目標値)
・栄養講座 年3回 ・食育講座 年3回						・栄養講座 年3回以上 ・食育講座 年3回以上
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	講座開催の内容や周 知方法についてさらに エ夫していく。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年		
度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

通番	17	所管課		公民館課	i c	
事業名	栄養講座 食育講座					
事業概要	17-b 栄養や食事、食育に原	関する講座の実施。				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	提 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり	■知識習得·情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者アンケート					
	実施					
平成26年度	実 績					
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
10事業	8事業 ・本多「〈ぬぎ教室サロン」 ・光「夏休み子どもクッキング(低 学年・高学年)「男性のための 食生活講座〈おうむごはん〉」「年 中行事体験〈自分でつくる恵方 巻き〉」 ・もとまち「親子料理教室〈給食 の人気メニューを作ろう〉」 ・並木「〈ぬぎ教室サロン」「子育 で応援講座」					10事業継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	・次年度以降も継続して事業を実施することが必要である。 ・調理室のない施設での取り組み方法の研究が必要である。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ,後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%		国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

通番	17	所管課	子	育て相談室(子ども家)	庭支援センター)		
事業名	栄養講座·食育講座						
事業概要	17-c ①1~2歳児の栄養・食生活講習会 ②親子食事作り講習会 ③妊娠期からの食生活講習会						
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	提 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得·情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	利用者への アンケート						
	実施						
平成26年度	実績 平成31年度						
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)	
各年1回実施	講習会を通じて食の 大切さを知る。 各項目の実施日 ①平成28年1月27日 ②平成27年7月30日 ③平成27年10月31					各年1回継続して実 施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況	
今後の課題	継続して安全な食品や 調理の仕方、食べ方の 掲示や、講習を通じて 情報提供を行う。						

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標 2 健康的な生活習慣を身につける	
施策の方向性 2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援	
分野 2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」	
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%		国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

'3 44	10	=r &==		/h = # /# :	-m		
通番 —————————	18	所管課		健康推進	沃		
事業名	個別栄養相談						
事業概要	健康の保持増進を図	るため、個別栄養相	談を実施する。				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報技 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	世 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	参加者へのアンケー トを検討						
	未実施						
平成26年度	実績 平成31年度						
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)	
個別栄養相談 年10回実施	年10回実施					個別栄養相談 年10回以上	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況	
今後の課題	相談機会を増やすた め,毎月実施。						

前期計画(平成27~31年 度)の取組	利期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ,後期計画(H32~36)に反映すべきこと

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性 2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援	
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

通番	19	所管課		健康推進	課	
事業名	離乳食講習会	·				
事業概要	離乳食に対する知識	の普及を図り、母子の)健康保持・増進に努め	る。離乳食の作り方だ	けでなく,仲間づくりの	場とする。
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供■意欲の形成■スキルの習得■仲間づくり□受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者へのアンケート					
	実施					
平成26年度	実 績 平成31年度					
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
各年12回実施	各年12回実施					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	申込みが多いため、定 員を増加させていく。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年		
度)の取組		

基本目標 2 健康的な生活習慣を身につける			
	施策の方向性	施策の方向性 2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援	
分野 2-1-1食育·栄養·食生活「国分寺市食育推進計画」			
	施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる	

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%		国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

通番	★ 20	所管課		健康推進	 課	
事業名	両親学級・乳幼児健認	うなど母子保健事業で	の情報提供			
事業概要	母子保健事業を活用	し, 子どもだけではな	く保護者の健康づくりの)必要性やの生活習慣	病等について情報提供	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □高なの形成 □へキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者へのアンケート					
	実施					
平成26年度	実績 平成31年度					
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
·両親学級(栄養講話) 年4回実施 ·乳幼児健診(集 団) 年72回実施	·両親学級(栄養講 話)年4回 ·乳幼児健診(集団) 年72回					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組	母子事業を活用し, 情報提供していく。					
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	引き続き、子どもだけでなく、保護者の健康づく りの情報も提供していく。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%		国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

通番	21	所管課	所管課 健康推進課				
事業名	若い世代への食の情報提供チラシ配布						
事業概要	市内大学・高校等と通	市内大学・高校等と連携し、大学生に生活習慣病予防や食の情報提供チラシ配布。					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 団 ■ 高欲の形成 ■ スキルの習得 □ 仲間づくり □ 受け皿づくり	□知識習得・情報 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	供 口意欲の形成	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得·情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	配布先への聞き取り を検討						
	未実施	未実施					
平成26年度	実 績						
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)	
市内1大学に配布	・市内大学1校・高校 3校・専門学校1校に 配布 ・本庁舎で配架(保険 課・生活福祉課)					市内の高校・専門 学校・大学等配布 場所の拡大	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況	
今後の課題	若い世代への食の情 報の周知方法						

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年		
度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%		国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

通番	22	所管課		高齢者相談	室	
事業名	一般介護予防事業					
事業概要	「介護予防把握事業」 ション活動支援事業」		発事業」「地域介護予防活	動支援事業」「一般介	護予防事業評価事業	」「地域リハビリテー
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 悪意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	提 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	開催状況把握					
	未実施					
平成26年度			実 績			亚世21年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)
地域包括支援セン ターと健康推進課と の共催実施 「介護予防教室」 「家族介護者交流 会」において年4回 実施	地域包括支援センターと健康推進課との共催実施 「介護予防教室」「家族介護者交流会」において年4回実施					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	健康維持には適正な食生活を送ることが必要であることの普及啓発を推進する。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

通番	23	所管課			高齢者相談	室	
事業名	高齢者配食サービス	事業					
事業概要	ひとり暮らし・高齢者の行う。	のみ世帯・日中独	居の	高齢者に平日昼食を気	と期的に届けることによ	59, 高齢者の健康保持	寺, 安全等の確認を
	平成27年度	平成28年度	E.	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得·情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	アンケート調査						
	未実施						
平成26年度		T		実績		T = 5	平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	Ę	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
年間配食数8,333食 (平成26年度)	年間配食数7,588食						継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。						前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	民間でも配食サービスを行っている 事業者が多数整備されてきているため、必ずしも行政で行う必要はなく なってきている。また、行政の事業で 行うことが民間事業の圧迫となること もありうるため、民間のサービスにつ いてリサーチし検討する必要がある。						

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける			
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援			
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」			
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる			

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%		国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

通番	24	所管課		子育で	(相談室(こどもの発達	センターつくしんぼ)	
事業名	摂食指導						
事業概要	専門指導として摂食技	旨導を取り入れ,	摂食排	指導の知識・大切さを係	呆護者ヘアプローチ する	ると共に,指導員等ので	研修も兼ねて行う。
	平成27年度	平成28年度	Ę	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	年4回,専門医による評価を実施。必要に応じて,療育の中で随時実施している。						
	実施						
平成26年度				実 績			平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	ŧ	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
摂食指導は年4回 (5月・7月・10月・1 月)実施	摂食指導は年4回 (5月・7月・10月・ 1月)実施。 食事の形態や介助 方法等の指導を受け、療育の中に取り 入れた。						継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組			/				
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。						前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	見た目食べられている 子に対しても、機能的 に食べられるようにす ることが課題。						

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年		
度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける			
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援			
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」			
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる			

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

通番	25	所管課		子ども子育て事業詞	果(保育園)	
事業名	給食を通じた乳幼児期	明の食育指導				
事業概要	日々の給食提供から 伝統的な行事にまつす 園内行事に合わせた	りる食事の提供により	伝統食を伝える。			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	アンケート					
	未実施					
平成26年度	実績					
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
毎月実施	年一回実施					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	予算との兼ね合い					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年		
度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

通番	26	所管課		子ども子育て事業詞	果(保育園)	
事業名	保育園内における野	保育園内における野菜等の栽培				
事業概要		さまざまな野菜(食材)を栽培し, 食べることで野菜(食材)に興味を持たせる。 野菜(食べ物)の育ちを知らせる。				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □ 意欲の形成 □ 中間づくり □ 受け皿づくり	□知識習得・情報供 四意欲の形成 □ネキルの習得 □仲間づくり	提 □知識習得・情報提供 □意欲の形成□スキルの習得□付間づくり□受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □ホキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	実施回数					
	未実施					
平成26年度	実績					平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
春季作と秋季作の 年2期作とその収穫	春季作と秋季作の年 2期作とその収穫					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	予算との兼ね合い					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。 っ。 市の食育事業指針を踏まえた上で,食育を,ライフステージに応じて,暮らしの様々な場面の中で,市民一人ひとりや関係機関と連携しながら,地域 を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	27	所管課		子ども子育て事業詞	果(保育園)					
事業名	芋ほり等の農業体験	,								
事業概要	地域での農業体験を通して、食材を作っている人について伝える。 また自分の関わる地域の食材を伝える。									
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)				
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得·情報提供 (円) □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり				
モニタリング方法 と実施	実施回数									
	実施									
平成26年度			実 績 			平成31年度				
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)				
年1回実施	年一回実施					継続して実施				
「働き盛り」世代等 への取組										
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況				
今後の課題	予算との兼ね合い									
	前期計画(H27~3		画(H27~31)の取組手法	に対する評価を踏まえ,	後期計画(H32~36)に反	で映すべきこと				
	以和に対する評	-1Ш				取組に対する評価 明州計画(1127-317)の収益于法に対する計画と語る元、後州計画(1102-307)に及民サインとこと				

前期計画(平成27~31年 度)の取組

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%		国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

通番	28	所管課		子ども子育て事業認	果(保育園)	
事業名	給食地域交流会					
事業概要	地域の子育て世代に	地域の子育て世代に対して実際に給食を食べることを含めた情報提供を行う。				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報技供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	アンケート					
	未実施					
平成26年度	実 績					平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
給食地域交流会 年1~2回実施	年一回実施					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	予算との兼ね合い					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

通番	29	所管課			経済課		
事業名	①市民農園 ②市民農業大学						
事業概要	②市民に「農業・農業	者・農場への関	心と理	解を深めてもらう」こと	、市民相互の交流を選 を理念として、地元農 業に取り組む体験学習	業者の協力と指導によ	
	平成27年度	平成28年原	叓	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供■意欲の形成■スキルの習得■仲間づくり■受け皿づくり	□知識習得・情供 田意欲の形成 □スキルの習行 □仲間づくり	· 得	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得·情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	利用者アンケートの実施						
	未実施						
平成26年度	実 績						平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年月	度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
①市内5カ所で実施。今年度は内1園(西国分寺駅前)の使用者入替えを行い、新たに119名が使用 の要は強力を行い、新たに119名がを明まるがでまる。	①市内5か所で実施。4園(西恋ヶ窪, 戸倉,東元町,光町) 計335区画の使用者 入れ替えを行った ②受講生29名中27 名が修了						①②共に農業理解 の促進に繋がって いるため、継続して 実施
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。						前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	①真に農業振興に資する 取組であるか再検討する 必要がある。 ②今後とも継続して実施 できるよう周知を図り、ま た環境を整備していく。						

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%	1110/6127 15	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

通番	30	所管課		経済課		
事業名	援農ボランティア募集					
事業概要			手不足の問題を抱えた。 を対象として実施。援農			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□ 口知識習得・情報提供 □ 意欲の形成 □ スキルの習得 □ 中間づくり □ 受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	活動希望者の意向 把握					
	実施					
平成26年度			実績			平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
援農ボランティア養成講座を受講し、内	生29名中, 27名が援					引き続き農業者の 助けになっている援 農ボランティアの育 成・派遣を継続して 実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	援農ボランティアの恒常的な確保。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ,後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

通番	31	所管課		経済課		
事業名	直売所マップの配布	•				
事業概要	農業振興補助金を活	用し, JA東京むさし	国分寺支店が制作した『	直売所マップを市役所の	か窓口等で配布する。	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 口意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報: 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	是 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	配布部数の把握					
	未実施					
T						T-40.4-
平成26年度 (現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)
窓口以外にも様々な農業イベントで配布	窓口以外にも様々な 農業イベントで配布					直売所情報を精査 し、最新情報を掲載 した直売所マップを 配布
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	引き続き配布を行う。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

通番	32	所管課		経済課		
事業名	地場野菜の周知	·				
事業概要	市民農業大学, 農業(Rする。	本験農園, こくぶんじ	朝市,農業祭,農ウォー	-ク等の農業関連事業を	を通じて参加者に対し、	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報が供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団高欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □ 高欲の形成 □ スキルの習得 □ 中間づくり □ 受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	認知率調査					
	未実施					
平成26年度	実 績			平成31年度		
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
市民農業大学、農 業体験農園(全6カ 所)、こくぶんじ朝市 (年2回)、農業祭、 農ウォーク等を実施 し、参加者に市内産 の野菜をPR	市民農業大学, 農業体験農園(全7カ所), こくぶんじ朝所 (年2回), 農業外 (中2回), 農 ※ 外 あい 現 宗会等を実施し、参加者に市内産の野菜をPR					地場産野菜の利用 促進に繋がってい るため、継続して実 施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	さらに周知を図る。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年		
度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

通番	33	所管課		経済課		
事業名	農業体験					
事業概要	市民農業大学,市民	農園, 国分寺いきいき	:農園,農業体験農園等	手の事業実施による市!	民の農業体験の場の扱	是供。
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団高欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □ネキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	各事業ごとに記載。					
平成26年度		1	実績	T	I = 5	平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
様々な農業体験事 業を実施	各事業ごとに記載。					市民の農業・農業者・農地に関する相互理解の促進のため、継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	各事業ごとに記載。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年		
度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける	
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援	
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」	
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる	

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%		国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

通番	34	所管課		経済課		
事業名	農業体験農園	·				
事業概要			市民に連続した農業体 品目程度の多品種栽培			料も野菜づくりに必
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	知識習得・情報提供意欲の形成スキルの習得申間づくり受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	利用者アンケートの 実施					
	未実施					
平成26年度			実績			平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
市内6園(内1園が 今年度開園)にて開 設	市内7園(内1園が H27年度開園)にて 開設					農業経営の一環となるため、更に農業 体験の拡充を図る
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	体験農園の持続的な運営が可能となるようさら に支援・周知を図る。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

通番	35 所管課 経済課					
事業名	農業祭					
事業概要	農畜産物の品質改善農業振興に寄与する	,栽培及び肥育管理 とともに,自然環境(の合理化を図り,都市別 民護と回復に深い関連の	農業の指針を確立し、 ある農業を一般公開し	農業経営の安定と生産 、市民との連携を深め	意欲の向上に努め
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報技供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	世 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	来場者へのアンケー トの実施					
	未実施					
平成26年度	実 績					
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)
11月1日、2日に国 分寺市農業祭を実 施	10月31日, 11月1日 に国分寺市農業祭を 実施					市民の農業・農業者・農地に関する相互理解の促進や地場産野菜の普及啓発のため、継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	引き続き実施する。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%		国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

通番	36	所管課		経済課			
事業名	JA協賛調理教室						
事業概要	JA東京むさし国分寺	JA東京むさし国分寺支店「セミナールーム」にてJAが企画した料理教室を市民向けに実施。食育や地産地消に直結する講座。					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 口意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	参加者アンケートの実施						
	未実施						
平成26年度	実 績						
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)	
カレー、お菓子等料 理教室を年5回実 施	料理教室を年8回実 施					継続して市報に掲載し, 広く市民にP R する	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況	
今後の課題	市事業ではないため効 果測定がしづらい。						

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年		
度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%		国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

通番	37	所管課		子ども子育て事業詞	果(児童館)		
事業名	児童館の料理教室	児童館の料理教室					
事業概要	子どもや乳幼児親子で	で参加できる料理の企	:画▪実施。				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 ロスキルの習得 口仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得·情報 提供 □ 高欲の形成 □ スキルの習得 □ 仲間づくり □ 受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	料理行事実施回数 の把握						
	実施		実施	実施	実施		
	実 績						
平成26年度 (現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)	
年67回開催 (6児童館合計)	料理企画54回 (6児童館合計)					料理企画60回 (6児童館合計)	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況	
今後の課題	調理専用の部屋の確 保ができないので、衛 生面の徹底をしての実 施となる。自由参加の ため、アレルギー児の 把握が難しい。						
前期計画(H27~31)の ************************************							

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	81.5%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	22.5%		国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20~30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	25.5%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

通番	38	所管課		学務課				
事業名	食育指導	食育指導						
事業概要	各小学校における栄養	 養職員による食育指導	算(授業・給食時間での	食育指導)。				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	各校への取り組み状 況調査 未実施							
	个大池							
平成26年度		I <u>.</u>	1	l <u></u>	平成31年度	平成31年度		
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	(実績値)	(目標値)		
各校 年19回実施	各校平均 年23.7回実施					各校 年20回実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況		
今後の課題	引続き、栄養職員で食 育に関する情報共有を 図り、積極的な食育指 導を行う。							
	前期計画(H27~3	1)の 新期計画	5(1197~91)の取組手注	に対する評価を踏まえ. ?	※押計画/U22~36)/= €	ニーナベキート		
	取組に対する評		』(H2/~31)の取組手法	に対する評価を踏まれ、1	发期計画(H32~36)1~及	し、映りへざこと		
前期計画(平成27~3 度)の取組	H年							

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける					
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援					
分野	2-1-2身体活動・運動					
施策の目標	1日に歩く時間を増やす					
44-						

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方	
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	23.7%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする	

今後の方向性・取組

通番	★39	所管課	子	育て相談室(子ども家)	庭支援センター)	
事業名	運動講座	•				
事業概要	39-a ①3B体操 ②ストレ	ッチ&ダンス ③リト	ミック ④自分ででき	るセルフケア ⑤パパ	3と子どもの遊びの会	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	利用者へのアンケー ト					
	実施					
平成26年度			実績			平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
各年1回実施	講習会を通じて、体を 動かせる機会を提供し つながりをつくる。 ①未実施 ②12月17日 実施 ③8月26日実施 ④9月25日実施 ⑤2月 20日実施					各年1回継続して実 施
「働き盛り」世代等 への取組	働き盛り世代でもある子育て世代へ,子育て面において取組を実施					
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	継続して体を動かせる 機会を提供し、好評で あるが、友達作りのきっ かけや繋がりを広めら れるようより支援が必 要である。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標

2 健康的な生活習慣を身につける

施策の方向性	とととして とり	「より良い生活習慣を」	身につけるための支	爰		
分野	2-1-2身体活動・	運動				
施策の目標	1日に歩く時間を	増やす				
	指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)		考え方	
日常生活で歩く時 人の割合	日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合 23.7% 12.0% 歩いていない人の割合を半分にする					
			今後の方向性・取	組		
少しでも体を動か 支援します。	すこと, 時間が無い人 ⁻	でも隙間時間で行える	歩くことをはじめとしぇ	た運動の普及を行います	ナ。だれもが気軽に運動	動に取り組めるよう
	★39	所管課		健康推進	 課	
 事業名	運動講座					
事業概要	39-b 働き盛り世代でも参加 託児付講座や土日開			講座を実施して,隙間時 マを取り入れて行う。	・ 特間に行える運動を紹った。 ・	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 無意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 供□意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (世間では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者アンケート					
	実施		.			
平成26年度 (現状値)	- 0 - 6 -	- 0	実績	- 0	平成31年度	平成31年度 (目標値)
年2回実施	平成27年度 年2回実施。 6/13参加者11人 保育8人 9/26参加者16人 保育4人	平成28年度	平成29年度	平成30年度	(実績値)	他の講座と調整し ながら年1回以上の 実施
「働き盛り」世代等 への取組	土曜日に実施・託児つき					
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	働き盛り世代への周知。	,				
	前期計画(H27~3		回(H27~31)の取組手派	まに対する評価を踏まえ,	後期計画(H32~36)に原	え映すべきこと
前期計画(平成27~3 度)の取組	取組に対する評	Ш		<u> </u>		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける					
施策の方向性	-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援					
分野	2-1-2身体活動・運動					
施策の目標	1日に歩く時間を増やす					
41-						

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方	
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	23.7%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする	

今後の方向性・取組

通番	40	所管課		社会教育	 課	
事業名	グループサークル団体	 本登録				
事業概要	グループサークル団体	本の受付・登録を行う				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	申込み数					
	未実施					
平成26年度		T	実績			平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
グループサークル 団体登録数 161団 体 (うち, 身体活動・運 動団体 117団体)	グループサークル団 体登録数 100団体					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	要綱等の整備が必要。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-2身体活動・運動
施策の目標	1日に歩く時間を増やす

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方	
日常生活で歩く時間が, 1日『30分未満』の 人の割合	23.7%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする	

今後の方向性・取組

通番	41	所管課		社会教育	 課	
事業名	プレイステーション整体	備·運営(野外活動)				
事業概要	青少年が生き生きと多	安全に遊べる遊び場と	:して, 指定管理者制度	により国分寺市プレイ	ステーションの管理・運	営営を行う。
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円)	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供□高欲の形成□スキルの習得■仲間づくり□受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	年間利用者数					
	実施					
平成26年度		T	実績	T		平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
年間利用者数 15,466人 (平成25年度)	17043人					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	新用地の確保					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-2身体活動·運動
施策の目標	1日に歩く時間を増やす

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方	
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	23.7%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする	

今後の方向性・取組

通番	42	所管課		スポーツ振り	興課	
事業名	スポーツ大会開催					
事業概要	各種スポーツ大会を開					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	□知識習得・情報提供□意欲の形成□スキルの習得■仲間づくり■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得·情報提供 (円)	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得·情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	アンケートの実施					
	未実施					
平成26年度			実 績			平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
7大会(市民体育大会、少年野球大会、少年野球大会、少年野球大会、少年少女がレーボール大会、少年少女バレーボール大会、ナン大会、壮年ソフトボール大会、市民体操祭)	7大会(市民体育大会、 少年野球大会、少年少 女サッカー大会、少年 少女バレーボール大 会、少年少女バドミント ン大会、壮年ソフトボー ル大会、市民体操祭)					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	今後種目数を維持しつつ、種数を増加していく					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	健康的な生活習慣を身につける				
施策の方向性	-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援				
分野	2-1-2身体活動・運動				
施策の目標	1日に歩く時間を増やす				
طلا					

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	23.7%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする

今後の方向性・取組

通番	43	所管課		スポーツ振り	興課	
事業名	スポーツ推進委員に。	はるイベント				
事業概要	スポーツ推進委員に。	より各種イベントを行う	5.			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得·情報提供 (円)	□知識習得・情報提供 (共) □意欲の形成 □ □ □ □ □ □ □ ○ □ ○ □ ○ □ ○ □ ○ □ ○ □ ○	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	スポーツ推進委員への意向調査					
	未実施					
平成26年度		T	実績	T	T # 4 / F #	平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
ウォーキング3回, スポレクまつり	ウォーキング2回, スポレクまつり1回 それぞれ実施					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	委員の新旧入れ替え はあるものの、若年層 の委員が少ない。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-2身体活動·運動
施策の目標	1日に歩く時間を増やす

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方	
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	23.7%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする	

今後の方向性・取組

通番	22(再)	所管課			高齢者相談		
事業名	一般介護予防事業						
事業概要	「介護予防把握事業」 ション活動支援事業」			事業」「地域介護予防活	·動支援事業」「一般介	護予防事業評価事業	」「地域リハビリテー
	平成27年度	平成28年原	隻	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情 供 □意欲の形成 □スキルの習ぞ □仲間づくり	导	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得·情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	開催状況把握						
	未実施						
平成26年度				実績			平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年原	芰	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
·介護予防講演会 年1回実施 ·転倒予防教室 年12回実施 ·介護予防教室 年12回実施	市, 委託地域包括支援センターにて開催・介護予防講演会年1回・転18回・新路回・介護予防教室年24回実施						継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。						前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	住民主体の介護予防 の実践に繋がるように 知識の普及啓発を行 う。						

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-2身体活動・運動
施策の目標	1日に歩く時間を増やす

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方	
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	23.7%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする	

今後の方向性・取組

	 						
通番	44	所管課			高齢者相談	室	
事業名	地域生きがい交流事	業					
事業概要	高齢者がそれぞれの 介護予防事業」等を行		, 自ら	多様な経験・技術を生	かし, さまざまな生きが	い活動を実践するため	か,「生きがい創作・
	平成27年度	平成28年原	隻	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得·情報提 供	□知識習得·情 供	報提	□知識習得•情報提 供	□知識習得·情報提 供	□知識習得·情報提 供	■知識習得·情報 提供
以他区グ の 天ң	■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□意欲の形成 □スキルの習行 □仲間づくり □受け皿づくり	导	□意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■意欲の形成■スキルの習得■仲間づくり□受け皿づくり
モニタリング方法と実施	各期毎の満足度アン ケート(年3回)						
	実施						
平成26年度				実 績			平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年原	度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
年間延べ参加者数 8,610人(平成26年 度見込)	年間延べ参加者数 8,788人						年間延べ参加者数 10,000人
「働き盛り」世代等 への取組			/				
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。						前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
	講座開催回数を増やす とともに、充足率を伸ば していく。						

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年		
度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける			
施策の方向性	-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援			
分野	2-1-2身体活動•運動			
施策の目標	1日に歩く時間を増やす			
	·#			

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	23.7%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする

今後の方向性・取組

通番	45	所管課		健康推進	果			
事業名	体育館等個人開放·因	本育館等個人開放・団体貸出し						
	45-a いきいきセンター管理	運営(指定管理)し、市	5民の健康増進活動の	場を提供する。				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)		
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 一意欲の形成 □ 二まルの習得 □ 中間づくり □ 受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □ネキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得·情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	指定管理モニタリン グチェック及び利用 者アンケート							
	実施							
			 実					
平成26年度 (現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)		
いきいきセンター団 体登録数 35団体	いきいきセンター団 体登録数 37団体					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況		
今後の課題	施設利用率の向上							
	前期計画(H27~3	1) Ø			// He-1 = /			

	取組に対する評価	前期計画(H27~31)の収組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-2身体活動·運動
施策の目標	1日に歩く時間を増やす

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方	
日常生活で歩く時間が, 1日『30分未満』の 人の割合	23.7%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする	

今後の方向性・取組

通番	45	所管課			スポーツ振り	 興課	
事業名	体育館等個人開放・日	本育館等個人開放・団体貸出し					
事業概要	45-b 市内体育施設を維持	管理し,市民に活	動の	場を提供する。			
	平成27年度	平成28年度	Ę	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	施設利用者へのアンケート調査						
	未実施						
平成26年度		T		実績	T		平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	Ę	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
3施設(市民スポーツ センター, 市民ひかり スポーツセンター, 市民室内プール)	3施設 (市民スポーツ センター, 市民ひかり スポーツセンター, 市民室内プール)						継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。						前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	施設のバリアフリー化 を踏まえた大規模改修 が必要である。						

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-2身体活動·運動
施策の目標	1日に歩く時間を増やす

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	23.7%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする

今後の方向性・取組

通番	45	所管課		公民館課		
事業名	体育館等個人開放·因	団体貸出し				
事業概要	45−c 公民館施設の貸出し					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報供 □意欲の形成 □ネキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	提 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □ 意欲の形成 □ スキルの習得 □ 仲間づくり ■ 受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	利用者懇談会					
	実施					
平成26年度			実 績			平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
25,000件 (身体活動・運動で の内訳利用数は不 明)	25,548件 (身体活動・運動での 内訳利用数は不明)					25,000件 (身体活動・運動で の内訳利用数は不 明)
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	・利用グループの中で、健康体操等の身体活動・運動で学習・活動を行っているグループの把握について研究することが望ましい。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-2身体活動・運動
施策の目標	1日に歩く時間を増やす

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方	
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	23.7%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする	

今後の方向性・取組

通番	45	所管課		地域福祉				
进 食	45	川官誄		地以倫征:	沫			
事業名	体育館等個人開放・因	本育館等個人開放・団体貸出し						
事業概要	45-d 福祉センターの貸出し	••						
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)		
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	限提 □知識習得・情報提供 □ 意欲の形成 □ スキルの習得 □ 中間づくり □ 受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供□高欲の形成□スキルの習得□仲間づくり■受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	指定管理者による利 用者アンケート							
	実施							
平成26年度			実 績			平成31年度		
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)		
2,916件 (平成25年度) (身体活動・運動で の内訳利用数は不 明)	3,235件 (身体活動・運動での 内訳利用数は不明)					3,000件		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況		
今後の課題	利用しやすい環境づく りに向けて指定管理者 と協議していく。							

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける				
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援				
分野	2-1-2身体活動·運動				
施策の目標	1日に歩く時間を増やす				

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	23.7%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする

今後の方向性・取組

77.00		-r 44		1+141	- -m	
通番 ————————————————————————————————————	45	所管課協働コミュニティ課				
事業名	本育館等個人開放・団体貸出し					
事業概要	45-e 地域センター6館及び					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 (円) 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報:供 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	是 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □窓欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	利用率等の把握					
	実施					
平成26年度			実 績			平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
全7館で実施	全7館で継続して実施					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	地域センターについては、利用率や利用者等は微増している。引き続き利用促進を推進して行く。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-3こころの健康・休養・睡眠
施策の目標	こころの健康のために余暇を楽しく過ごす。 5時間以上睡眠をとるよう心がける。

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
【再】1日の平均睡眠時間が『5時間未満』の 人の割合 <30~50代の市民>	13.0%	10%以下	「働き盛り」世代等における睡眠時間について,5時間未満の短い人が減ることを目指す数値
余暇の過ごし方が『充実している』人の割合	60.8%	80%	ほとんどの市民が余暇を充実していることを目指す割合

今後の方向性・取組

余暇を楽しく過ごすこと,運動すること,睡眠による十分な休養の確保の重要性などについて普及啓発していくとともに,こころの健康に関する相談体 制を充実していきます。

通番	46	所管課	子	育て相談室(子ども家)	庭支援センター)	
事業名	①かるがも相談 ②フリートーキング					
事業概要	①子育てを通じての7 ②日々の子育ての中		が受ける。 たいことなど, みんなで	おしゃべりしながら交沢	たする。	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供(二意欲の形成(コスキルの習得)(目)(目)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得·情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	①実施なし ②利用者からのアン ケート					
	実施					
平成26年度			実 績			平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
各月1・2回実施	①各月1回または適時 実施。 ②育児相談や友達作り の構会を提供。〇〜6か 月対象、6〜12か月対 象、1歳児以上対象、 テーマ別、パパ対象を 各6回実施。					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	①広報活動を充実させる。②父親の子育てに 積極的な参加と父親同 士の仲間づくりを手助 けできるよう啓発活動 がより必要である。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ,後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-3こころの健康・休養・睡眠
施策の目標	こころの健康のために余暇を楽しく過ごす。 5時間以上睡眠をとるよう心がける。

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
【再】1日の平均睡眠時間が『5時間未満』の 人の割合 <30~50代の市民>	13.0%	10%以下	「働き盛り」世代等における睡眠時間について、5時間未満の短い人が減ることを目指す数値
余暇の過ごし方が『充実している』人の割合	60.8%	80%	ほとんどの市民が余暇を充実していることを目指す割合

今後の方向性・取組

余暇を楽しく過ごすこと,運動すること,睡眠による十分な休養の確保の重要性などについて普及啓発していくとともに,こころの健康に関する相談体 制を充実していきます。

通番	47	所管課		健康推進	課	
事業名	メンタルヘルス講座					
事業概要	メンタルヘルスに関す つくようにする。	る講座を実施。精神	面の気づきのポイントを	理解してもらい,心の(建康づくりや病気の早	期発見・治療に結び
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 田意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	アンケート					
	実施					
亚什么在中			実 績			亚宁04年度
平成26年度 (現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)
冬うつ講座実施(隔 年で実施)	メンタルヘルス「こころと一本元気講座」 多加者15名 保育6名					2年に1回以上実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	働き盛り世代への周知。					
	前期計画/U27~.2	1) ①				

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-3こころの健康・休養・睡眠
施策の目標	こころの健康のために余暇を楽しく過ごす。 5時間以上睡眠をとるよう心がける。

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
【再】1日の平均睡眠時間が『5時間未満』の 人の割合 <30~50代の市民>	13.0%	10%以下	「働き盛り」世代等における睡眠時間について、5時間未満の短い人が減ることを目指す数値
余暇の過ごし方が『充実している』人の割合	60.8%	80%	ほとんどの市民が余暇を充実していることを目指す割合

今後の方向性・取組

余暇を楽しく過ごすこと,運動すること,睡眠による十分な休養の確保の重要性などについて普及啓発していくとともに,こころの健康に関する相談体 制を充実していきます。

通番	★ 48	所管課		健康推進	課	
事業名	メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」					
事業概要		携帯電話やパソコンによりストレスや落ち込み度を簡単にチェックするもの。それを実施することで,どこに相談に行ったらよいかが 分かる仕組みになっている。				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 円意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報:供 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	世 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	アクセス数及びチェッ ク結果の把握					
	未実施					
平成26年度			実 績			平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
アクセス件数 年間138,597件 (平成25年度)	アクセス件数 年間138,597件 (平成26年度)					アクセス件数 平成25年度実績値 以上
「働き盛り」世代等 への取組	携帯電話やパソコン により, 手軽に確認 できるようにしてい る。					
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	アクセス件数が昨年よ り下がっており, 周知方 法やシステム内容に検 討が必要。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ,後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-3こころの健康・休養・睡眠
施策の目標	こころの健康のために余暇を楽しく過ごす。 5時間以上睡眠をとるよう心がける。

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
【再】1日の平均睡眠時間が『5時間未満』の 人の割合 <30~50代の市民>	13.0%	10%以下	「働き盛り」世代等における睡眠時間について、5時間未満の短い人が減ることを目指す数値
余暇の過ごし方が『充実している』人の割合	60.8%	80%	ほとんどの市民が余暇を充実していることを目指す割合

今後の方向性・取組

通番	49	所管課		健康推進	果		
事業名	心の健康相談(精神係	心の健康相談(精神保健相談)					
事業概要	精神科医師による相談	精神科医師による相談。心の問題についての相談や,セカンドオピニオンとしての利用や受診の必要性の確認などを行う。					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 円意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □高なの形成 □へキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得·情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	事後面接·相談						
	実施						
平成26年度	実 績					平成31年度	
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)	
月1回実施	月1回実施 相談者数26人					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況	
今後の課題	次年度から障害者相談 室に移行する事業に て,今後の連携が課 題。						

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ,後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-3こころの健康・休養・睡眠
施策の目標	こころの健康のために余暇を楽しく過ごす。 5時間以上睡眠をとるよう心がける。

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
【再】1日の平均睡眠時間が『5時間未満』の 人の割合 <30~50代の市民>	13.0%	10%以下	「働き盛り」世代等における睡眠時間について、5時間未満の短い人が減ることを目指す数値
余暇の過ごし方が『充実している』人の割合	60.8%	80%	ほとんどの市民が余暇を充実していることを目指す割合

今後の方向性・取組

通番	50	所管課		健康推進	課	
事業名	妊産婦新生児訪問					
事業概要		妊産婦訪問時にEPDS(エジンバラ産後うつ病質問票)を含む自己記入式質問票を実施し,産後うつ病のスクリーニングや育児不安等,メンタルヘルスについて支援を行う。				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	訪問					
	実施					
平成26年度			実績			平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
産婦訪問実施率 93.9% (平成25年度)	妊産婦訪問実施率 92%					産婦訪問実施率 平成25年度実績値 以上
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	各担当の更なるスキル アップ					

	十画(H27~31)の 担に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-3こころの健康・休養・睡眠
施策の目標	こころの健康のために余暇を楽しく過ごす。 5時間以上睡眠をとるよう心がける。

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
【再】1日の平均睡眠時間が『5時間未満』の 人の割合 <30~50代の市民>	13.0%	10%以下	「働き盛り」世代等における睡眠時間について,5時間未満の短い 人が減ることを目指す数値
余暇の過ごし方が『充実している』人の割合	60.8%	80%	ほとんどの市民が余暇を充実していることを目指す割合

今後の方向性・取組

通番	51	所管課		健康推進	課	
事業名	ゲートキーパー養成講座					
事業概要	年1回市職員を対象 対象を市民や関係機		注講師に自殺対策講座 ーパーを増やす。	を実施している。		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 円意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □高欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	事後アンケート					
	実施					
平成26年度	実 績					平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
市職員対象に年1 回実施	市職員対象に年1回 実施 参加者数 49人					年1回以上実施 対象者を拡大
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	次年度から職員課との 共催ではなくなるため、 周知方法が課題。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ,後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-4飲酒
施策の目標	特に女性において、飲酒量を下げる

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <男性1日2合以上>	17.9%	10%	国の現状値(15.3%)以下を目指す数値
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <女性1日1合以上>	19.0%	7.5%	国の現状値(7.5%)まで下げることを目指す数値

今後の方向性・取組

通番	52	所管課		健康推進	課	
事業名	まとう会(アルコール関連問題保健看護勉強会)					
事業概要	アルコール依存症の 行う。	当事者やその家族が	依存症の病態や,共依	存のメカニズムについ	て学び,日々の生活に	ついて意見交換を
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	自主グループ化に向けた会内での検討					
	未実施					
平成26年度	実 績					
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)
年12回実施	年12回実施 参加者数延べ34人					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	自主グループ化に向 けての検討					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける			
施策の方向性	-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援			
分野	2-1-4飲酒			
施策の目標	特に女性において、飲酒量を下げる			
44-				

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <男性1日2合以上>	17.9%	10%	国の現状値(15.3%)以下を目指す数値
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <女性1日1合以上>	19.0%	7.5%	国の現状値(7.5%)まで下げることを目指す数値

今後の方向性・取組

通番	53	所管課		健康推進	課	
事業名	アルコール個別相談	·				
事業概要	アルコール依存症のス	ちやアルコールが止め	られない方の個別相記	炎 。		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □意なの形成 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■ 意欲の形成 □ スキルの習得 □ 中間づくり □ 受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	訪問・電話・来所等					
	未実施					
平成26年度			実績			平成31年度 (目標値)
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	
相談件数97件 (平成25年度)	相談件数103件					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	継続的に支援していけ る体制作りが課題であ る。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年		
度)の取組		

基本目標	健康的な生活習慣を身につける			
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援			
分野	2-1-4飲酒			
施策の目標	特に女性において、飲酒量を下げる			

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <男性1日2合以上>	17.9%	10%	国の現状値(15.3%)以下を目指す数値
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <女性1日1合以上>	19.0%	7.5%	国の現状値(7.5%)まで下げることを目指す数値

今後の方向性・取組

通番	★ 54	所管課		健康推進		
事業名	両親学級(妊娠中の食	両親学級(妊娠中の飲酒のリスクを情報提供)				
事業概要	妊娠中の飲酒による肌	台児の影響について,	リーフレットを配布し、イ	保健師より説明を行う。		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 口意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	両親学級にて集団指 導実施					
	実施					
平成26年度			実績			平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
年10回実施	年10回実施					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組	土曜実施					
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	親子ひろば等と連携 しながら継続していく 必要がある					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける			
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援			
分野	2-1-4飲酒			
施策の目標	特に女性において、飲酒量を下げる			
₩.₩				*- <u>-</u>

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <男性1日2合以上>	17.9%	10%	国の現状値(15.3%)以下を目指す数値
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <女性1日1合以上>	19.0%	7.5%	国の現状値(7.5%)まで下げることを目指す数値

今後の方向性・取組

通番	★55	所管課		健康推進	果	
事業名	アルコール依存症、治療に関する情報提供					
事業概要	市報・ホームページ等	で、情報提供を行う。				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団高欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得·情報 提供 □ スペの形成 □ スペーの習得 □ 中間づくり □ 受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	関連する事業の参加 者にHPの内容につ いて聞いてみる。					
	未実施					
- 5 / -			実 績			
平成26年度 (現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)
未実施	未実施					平成27年度以降実施し,年1回以上ホームページに継続掲載
「働き盛り」世代等 への取組	「働き盛り」世代等が 関心を持つ内容を掲 載する					
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	_					

	利用計画(H2/~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける					
施策の方向性	2-1すべての人がより	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援				
分野	2-1-5喫煙	2-1-5喫煙				
施策の目標	受動喫煙をしないような環境づくりをすすめる					
指標 平成26年(現状値) 平成36年(目標値) 考え方						

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
『習慣的に喫煙している』人の割合	11.6%	0%を目指す	受動喫煙のリスクを喫煙者が認識し、周囲への配慮や、禁煙行動に移す意識を高める必要があるため目指していく数値

今後の方向性・取組

受動喫煙の危険性やCOPDの周知を行うとともに、禁煙したい方への情報提供を行い、喫煙者を減らしていきます。

通番	★56	所管課	所管課健康推進課					
事業名	喫煙のリスクや禁煙外来についての情報提供							
事業概要	世界禁煙デーにあわ [・]	せて,市報・ホーム	ページ等にて情報提供を	行う。				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	提 □知識習得・情報提供 □意欲の形成□スキルの習得□仲間づくり□受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	アンケート調査の実施							
	未実施							
平成26年度	実 績							
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)		
年1回実施	市報に、たばこの影響についての知識普及と啓発記事を掲載した					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組	両親学級にて啓発活 動を実施している							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況		
今後の課題	世界禁煙デー以外にも 定期的に、周知していく 必要がある。							

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年		
度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活	2 健康的な生活習慣を身につける					
施策の方向性	2-1すべての人か	「より良い生活習	習慣を身	身につけるための支	援		
分野	2-1-5喫煙						
施策の目標	受動喫煙をしないような環境づくりをすすめる						
	指標	平成26年(3	現状値)	平成36年(目標値)		考え方	
『習慣的に喫煙し	ている』人の割合	11.69	%	O%を目指す 受動喫煙のリスクを喫煙者が認識し、周囲への配慮や、禁煙行動に移す意識を高める必要があるため目指していく数値			
				今後の方向性・取	組		
受動喫煙の危険性	生やCOPDの周知を行	うとともに、禁煙	更したい	ゝ 方への情報提供を	行い、喫煙者を減らしてい	いきます。	
通番	★ 57	所管課			健康推進	 課	
事業名	両親学級(妊娠中の食	火酒のリスクを情	青報提信	供)			
事業概要	妊娠中の喫煙や、副流	流煙による胎児·	への影	について妊婦やそ	その家族に情報提供を行	i う。 	
	平成27年度	平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情 供 □意欲の形成 □スキルの習行 □仲間づくり □受け皿づくり	得	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (共 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	両親学級にて集団指 導実施						
	実施						
平成26年度		I		実績	ı	平成31年度	平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年月	度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
年10回実施	年10回実施						継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組	土曜実施						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。						前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	継続した取組を実施 していく必要がある。						
	前期計画(H27~3		加計工	『(H27~31)の取組手:	法に対する評価を踏まえ	後期計画(H32~36)に反	
前期計画(平成27~3 度)の取組	取組に対する評価						

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	50.3%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	32.1%	201%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	3.6%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組

通番	★14(再)	所管課		健康推進	課			
事業名	歯科健診							
事業概要	・乳幼児歯科健診:2歳 (希望者)を実施。 ・成人歯科健診:歯科	・妊婦歯科健診:妊婦を対象に口腔内診査・歯みがき相談を実施。 ・乳幼児歯科健診:2歳半頃の幼児及び3歳半頃の幼児を対象に口腔内診査、仕上げみがきや幼児自身の歯みがき、フッ素塗(希望者)を実施。 ・成人歯科健診:歯科医師会医療機関にて、20歳以上の市民対象に口腔内診査、相談を実施。 ・口腔がん検診:視診による舌やその他口腔内粘膜の炎症や傷の検査を実施。						
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得·情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	妊婦・乳幼児・成人歯科 健診のアンケートでは歯 科保健行動につながる項 目を取り入れている							
	実施		実績					
平成26年度 (現状値)	平成27年度	平成31年度	平成31年度 (目標値)					
受診者 ・妊婦164人 ・乳幼児(2歳半3歳 半)249人,予防処置 (フッ素塗布)233人 ・成人743人 ・ロ腔がん69人	受診者 ・妊婦169人 ・乳幼児(2歳半3歳 半)246人,予防処置 (フッ素塗布)217人 ・成人967人 ・口腔がん67人	平成28年度	平成29年度	平成30年度	(実績値)	平成26年度受診者 数以上		
「働き盛り」世代等 への取組	成人歯科健診については40歳対象者に は、40歳検診勧奨事 業を実施							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況		
今後の課題	ライフステージを通した歯科 保健行動につながるよう各 健診の受診者の増加や相談 内容の充実を図る必要があ る。							

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年		
度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	50.3%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	32.1%	811%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラク ターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	3.6%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組

通番	58	所管課	所管課 健康推進課						
事業名	口腔機能向上健診(吲	口腔機能向上健診(咬合力測定)							
事業概要	40歳以上の市民を対	象に健診, 咬合力	測定, 歯科医師の個別相	談と併せて歯科衛生士	:による健康教育等を写	実施。			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)			
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	限提 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得·情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり			
モニタリング方法 と実施	歯科保健行動につな がる内容を取り入れ たアンケート								
	実施								
平成26年度		平成31年度							
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)			
延べ人数 209人(健診・咬合 カ測定・個別相談	延べ人数277人(健 診・咬合力・個別相 談)					平成26年度受診者 数以上			
「働き盛り」世代等 への取組									
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況			
今後の課題	ロ腔機能を重視した 歯科保健の普及啓 発やその手法に工夫 を図る。								

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

	基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
	施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
I	分野	2-1-6歯と口の健康
I	施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	50.3%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	32.1%	811%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	3.6%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組

""	4.50	50年 = 1		/# r= ++ '# =	=======================================			
通番 ————————————————————————————————————	★59							
事業名	①乳幼児・2歳児歯みがきクラス ②成人歯科保健講座							
事業概要	①歯みがきクラス:乳幼児歯みがきクラスは1歳頃~1歳5か月児とその保護者,2歳児歯みがきクラスは2歳頃~2歳5か月児とその保護者を対象に、口腔機能や虫歯予防に関する健康教育と相談を実施。 ②成人:歯科医師等による歯科保健健康教育、歯科衛生士による実習相談等を実施。							
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得·情報提 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	アンケートに歯科保 健行動につながる項 目を取り入れている							
	実施							
平成26年度		平成31年度						
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)		
・乳幼児歯みがきク ラス173組 ・2歳児歯みがきク ラス103組 ・成人歯科保健講 座年1回実施	・乳幼児歯みがきクラス154組 ・2歳児歯みがきクラス147組 ・成人歯科保健講座年1回実施					・乳幼児歯みがきクラス173組以上・2歳児歯みがきクラス103組以上・成人講座継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組	2歳児歯みがきクラ スは年1回土曜日開 催							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況		
今後の課題	市民のニーズや歯科 保健の意識向上につ ながるよう質の高い 健康教育を実施して いく。							

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	50.3%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	32.1%	811%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	3.6%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画 * の目標値に合わせる

今後の方向性・取組

通番	60	所管課		健康推進	課			
事業名	歯科医療連携推進事業							
事業概要	歯科衛生士が障害者等歯科相談窓口でかかりつけ歯科医を探すことが困難な障害者・在宅要介護者等からの相談を受け、歯科 医師会と連携して身近な地域で適切な歯科医療を受けられるよう歯科医療機関の紹介を行う。							
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □ 元キルの習得 □ 中間づくり □ 受け皿づくり	□知識習得・情報供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	提 □知識習得・情報提供 □意欲の形成□スキルの習得□仲間づくり□受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	歯科医療連携講演 会でのアンケート							
	実施							
平成26年度		実績 平成31年度						
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)		
・相談及び連絡・調整(障害者等歯科相談窓口含む)290件。・歯科衛生士訪問30時件・歯科医師訪問10件(平成26年度見	・相談及び連絡・調整 (障害者等歯科相談 窓口含む)152件 ・歯科衛生士訪問6 件 ・歯科医師訪問7件					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況		
今後の課題	他部署との効果的な連携や、関係機関への周知の工夫が必要。							

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	50.3%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	32.1%	811%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	3.6%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組

通番	61	所管課		健康推進	課			
事業名	個別歯科相談							
事業概要	歯科衛生士が電話・面接・訪問により歯と口に関する相談を実施。							
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 円意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	相談後の反応							
	実施							
平成26年度			実 績			亚弗尔在帝		
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)		
延べ件数48件 (電話・面接・訪問) (平成26年度見込)	延べ件数83件 (電話・面接・訪問)					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況		
今後の課題	市民への対応が適切に行えるよう知識の習得や情報収集に努める。							

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年		
度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	50.3%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	32.1%	811%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	3.6%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組

通番	62	所管課		健康推進	 課			
事業名	歯と口の健康週間事業							
事業概要	歯と口の健康週間(6/4~6/10)のうちの日曜日に歯と口の健康に関するイベントを実施。							
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 円意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得·情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	アンケート							
	実施							
平成26年度	実 績							
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)		
イベント参加延べ人 数 528人	イベント参加延べ人 数 515人					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況		
今後の課題	共催機関の歯科医師会との協力を深め、市民の満足度の高い事業として継続していく。							

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	50.3%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	32.1%	811%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	3.6%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画 * の目標値に合わせる

今後の方向性・取組

通番	4(再)	所管課		健康推進	課			
事業名	子どもの歯を守る連絡会							
事業概要	市、関係機関等が連携し「子どもの歯と口の健康づくり」に関する効果的な事業の推進を図るための検討や協議を行う。							
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 悪意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	アンケート							
	実施							
平成26年度			実 績			平成31年度		
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)		
年2回開催	年2回開催。「子どもの歯科保健推進計画」に基づき関係部署が実施した取知の報告や情報交換。 程度の取組を効果的に実施するための提言や平成 28年~30年の新しい計画についての協議・検討					年2回開催の継続		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況		
今後の課題	関係機関が子どもの歯 科保健を効果的に進め られるよう連絡の働き を明確にする。							

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	50.3%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	32.1%	811%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	3.6%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組

通番	★15(再)	所管課	所管課健康推進課						
事業名	40歳検診勧奨事業								
事業概要	節目である40歳になる方を対象に、がん検診、歯科健康診査に関する個別通知により受診勧奨を実施。								
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)			
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	供 口意欲の形成	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得·情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり			
モニタリング方法 と実施	市民アンケート								
	未実施								
平成26年度	実 績								
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)			
発送数1,923件(平 成26年度末年齢40 歳の市民)	発送数1,843件					継続して実施			
「働き盛り」世代等 への取組	40歳の全市民に対し 個別通知を発送。								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況			
今後の課題	申込み方法の見直し								

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	50.3%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	32.1%	811%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	3.6%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組

通番	22(再)	所管課 高齢者相談室							
事業名	一般介護予防事業								
事業概要	「介護予防把握事業」 ション活動支援事業」		多事業」「地域介護予防活	岳動支援事業」「一般介	護予防事業評価事業	」「地域リハビリテー			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)			
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 団高欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	是 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □へ間づくり □受け皿づくり			
モニタリング方法 と実施	開催状況把握								
	未実施								
平成26年度		実績 平成31年度							
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)			
地域包括支援セン ターと健康推進課と の共催実施 「介護予防教室」 「家族介護者交流 会」において年4回 実施	地域包括支援セン ターと健康推進課と の共催実施 「介護予防教室」「家 族介護者交流会」に おいて年4回実施					継続して実施			
「働き盛り」世代等 への取組									
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況			
今後の課題	健康維持には適切な口腔ケアが必要であることの普及啓発を推進する。								

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年		
度)の取組		

	基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
	施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
I	分野	2-1-6歯と口の健康
I	施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	50.3%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	32.1%	811%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	3.6%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画 * の目標値に合わせる

今後の方向性・取組

通番	63	所管課 子ども子育て事業課(保育園)						
事業名	歯科健診							
事業概要	63-a 嘱託歯科医師によるi もらう。	歯科健診。健診当	日欠席した未受診児には	嘱託歯科医院を受診し	てもらい, 1か月間は無	乗料で健診を受けて		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)		
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	供口意欲の形成	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	保護者面談							
	実施							
平成26年度		実績 平成31年度						
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)		
年1回実施	年一回実施					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況		
今後の課題	定期的な歯科健診を行い、園児自身歯の状況 を認識させ、保護者へ も情報を伝達させてい く。							

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年		
度)の取組		

	基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
	施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
I	分野	2-1-6歯と口の健康
I	施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	50.3%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため, 定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	32.1%		8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	3.6%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画 * の目標値に合わせる

今後の方向性・取組

通番	63	63 所管課 学務課					
事業名	歯科健診						
事業概要	63-b 小中学校歯科健診の	実施。					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (共 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得·情報 提供 □ スキルの習得 □ 中間づくり □ 受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	各学校からの報告						
	未実施						
平成26年度	実 績						
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)	
年1回実施	年1回実施					年1回実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況	
今後の課題	学校保健法で定められた事業であり、実施していくうえで課題等はない。						

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	50.3%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	32.1%	811%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラク ターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	3.6%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組

通番	63	所管課	所管課 子育て相談室(こどもの発達センターつくしんぼ)					
事業名	歯科健診	·						
事業概要	63-c 嘱託医による歯科健語	診を実施。						
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報技供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	歯科アンケートを実施。年2回,専門医による評価							
	実施							
平成26年度	実 績					平成31年度		
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)		
10月に年1回実施	10月に年1回実施。 健診後、保護さいの に応じて、歯・歯を伝え、必 診後、保証を保護 診後、保証を保護 衛生についての歯 を深めるためにあ 講座を実施した。					年1回継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況		
今後の課題	医療(歯科)とつながっ ていない家庭があるの で、繋がるようにしてい くことが課題。							

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	50.3%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	32.1%	811%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	3.6%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画 * の目標値に合わせる

今後の方向性・取組

通番	64	所管課		子ども子育て事業詞	果(保育園)		
事業名	ほけんだよりの活用						
事業概要	公立保育園等で作成する「ほけんだより」にかめちゃんぬりえを載せキャラクターの周知と同時に噛むことの重要性を周知。						
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)	
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	
モニタリング方法 と実施	おたよりの周知回数						
	未実施						
平成26年度			実 績			平成31年度 (目標値)	
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)		
むし歯予防デーと 合わせて6月号に掲 載	むし歯予防デーと合わせて6月に掲載					継続して実施	
「働き盛り」世代等 への取組							
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況	
今後の課題	園児及び保護者に歯の 大切さを継続的に周知 させて、むし歯を予防し ていく。						

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	50.3%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	32.1%	811%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	3.6%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画 * の目標値に合わせる

今後の方向性・取組

通番	65	所管課 子ども子育て事業課(保育園)						
事業名	歯みがき指導							
事業概要	65-a 看護職が年長児に歯みがき指導を実施。幼児には虫歯予防などの保健指導を実施。							
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	提 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □意かの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □ネキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	保護者面談							
	実施							
平成26年度		平成31年度						
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)		
年1~3回程度実施	年1~3回程度実施					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況		
今後の課題	歯科健診後、むし歯予 防の徹底とむし歯治療 の両面から指導に努め ていく。							

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年		
度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	50.3%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	32.1%	811%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	3.6%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組

通番	65	65 所管課 学務課						
事業名	歯みがき指導							
事業概要	65-b 小学校4年生を対象とした歯磨き指導の実施。							
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (共) □ □ □ □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	各学校からの報告							
	未実施							
平成26年度	実 績							
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)		
年1回	年1回					年1回		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況		
今後の課題	歯磨き指導の必要性を 周知し、継続的に実施 していくことが必要であ る。							

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
歯周病の症状がある人の割合	50.3%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため, 定期的に 歯科医へ行っている』人の割合	32.1%	911%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラク ターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	3.6%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組

通番										
第字機要 第一指導として摂食指導を取り入れ、摂食指導の知識・大切さを保護者へアプローチすると共に、指導員等の研修も行う。 接食 保護者を取り入れ、歯磨きの習慣をつけるプログラムを取り入れている。 単加識習得・情報提 日知識習得・情報提 日期識習得・情報提 日期識習得・情報提 日期識習得・情報提 日期識習得・情報提 日期識習得・情報提 日本の習得 日本の習得 日本のの習得 日本のの習得 日中間づくり 日本のの習得 日中間づくり 日中間づくり 日本のの習得 日中間づくり 日中間づくり 日中間づくり 日本のの習得 日中間づくり 日本ののでは 日本ののでは 日本ののでは 日本ののでは 日本ののでは 日本ののでは 日本ののでは 日本ののでは 日本のでは 日本ので	通番	65	所管課	所管課 子育て相談室(こどもの発達センターつくしんぽ)						
事業概要 専門指導として損食指導を取り入れ、指食指導の知識・大切さを保護者へアプローチすると共に、指導員等の研修も行う。 昼食後に歯磨きを取り入れ、歯磨きの習慣をつけるプログラムを取り入れている。 平成29年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 (目標) 和加騰習得・情報提 供 日敷液の形成 日本キルの習得 日中間づくり 日変状の形成 日本キルの習得 日中間づくり 日受け皿づくり 日東け皿づくり 日東は一大・の習得 日中間づくり 日東は一大・の習得 日中間づくり 日東にある評価を実施・必要に応じて、でも。 実施 東雅 東成20年度 平成20年度 平成30年度 (14種値) 日本に関すると変施・必要に応じて、でも。 実施 東京の正式の事務を実施・必要に応じて、また。 実施 東京の主に関すると変施・必要に応じて、また。 実施 東京の主に関すると変施・変更に応じて、また。 実施 東京の主に関すると変施・変更に応じて、また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。	事業名	歯みがき指導								
取組区分の実績	事業概要	専門指導として摂食指導を取り入れ、摂食指導の知識・大切さを保護者へアプローチすると共に、指導員等の研修も行う。								
取組区分の実績		平成27年度	平成28年原	叓	平成29年度	平成30年度	平成31年度			
モニタリング方法 売売の中で随時実施して ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	取組区分の実績	供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり	供 □意欲の形成 □スキルの習行	· 得	供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり	供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり	供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり	提供 □意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり		
平成26年度		価を実施。必要に応じて、 療育の中で随時実施して いる。								
平成27年度		美								
(現状値) 平成27年度 平成28年度 平成30年度 平成30年度 平成31年度 (目標値)	平成26年度	実 績						平成31年度		
接食指導は年4回 (5月・7月・10月・1 月)実施。食事の形態や介助方法等の指導を受け、療育の中に取り入れた。毎日の歯磨きは毎日実施 目標どおり進行している。 日標とおり進行している。 日標とおり進行している。 「働き盛り」世代等本の取組 「事を受け、原育の中に取り入れた。毎日の歯磨きを、確実に行った。 「事を磨くことだけを重視するのではなく、マッサージ等をといいれて、顔の過敏さを軽減するための策等も取り入れていくことが		平成27年度	平成28年度		平成29年度	平成30年度				
今後の課題 目標どおり進行している。 前期終了時(平成31年度)の達成状況評価 前期終了時(平成31年度)の達成状況 歯を磨くことだけを重視するのではなく、マッサージ等をとりいれて、顔の過敏さを軽減するための策等も取り入れていくことが	(5月・7月・10月・1 月)実施 昼食後の歯磨きは	(5月・7月・10月・ 1月)実施。食事の形 態や介助方法等の 指導を受け、療育の 中に取り入れた。 毎日の歯磨きを、確						継続して実施		
各年度末までの										
るのではなく、マッサージ 等をとりいれて、顔の過 飲さを軽減するための策 等も取り入れていくことが								31年度)の達成状		
	今後の課題	るのではなく, マッサージ 等をとりいれて, 顔の過 敏さを軽減するための策 等も取り入れていくことが								

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する
施策の方向性	3-1地域のつながり強化
	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
お住まいの地域について 『お互いに声かけをしていると考えている』人 の割合	40.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	20.0%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

今後の方向性・取組

通番	66	所管課		子ども子育て事業語	果(保育園) 			
事業名	すくすくこくぶんじ							
事業概要	地域の親子に保育園		観点から健康に関する	る保健講話を実施。健身	長相談も実施。	_		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)		
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □ネキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	アンケート							
	未実施		. ,+					
平成26年度		T	実績	平成31年度				
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)		
年1回10月実施	年1回11月実施					年1回程度		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況		
今後の課題	周知の方法や参加を促す方法を模索し、ツイッターやブログなどの電子情報発信を試行する。							
前期計画(H27~31)の								
前期計画(H27~31)の 取組に対する評価 前期計画(平成27~31年度)の取組				以りへさこと				

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する
施策の方向性	3-1地域のつながり強化
	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
お住まいの地域について 『お互いに声かけをしていると考えている』人 の割合	40.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	20.0%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

今後の方向性・取組

通番	67	所管課	-	育て相談室(子ども家)	在支援センター)	
事業名	山城場体験 ②センタ	①職場体験 ②センターまつり ③クリスマス会 ④小学生社会科見学 ⑤はあとマーケット				
事業概要	②親子参加型のフリー ③地域のボランティア ④第二小学校三年生	①国分寺市立中学校職場体験受け入れ(各学校2名程度) ②親子参加型のフリーマーケットや,地域活動の一環としてのイベント。ボランティアおよび多世代の交流 ③地域のボランティアによるイベントおよび多世代との交流(午前・午後2回実施) ④第二小学校三年生全クラス参加 ⑤リサイクル絵本のお店屋さんごっこ				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	広報, チラシ, 口コミ					
	実施					
平成26年度			実 績			平成31年度 (目標値)
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	
年間 ①各中学校3日 ②③④1回 ⑤2回実施	地域の各機関との連携をはかり、イベントを通して繋がりを強化。①11月4~6日、1月26日~28日②10月17日 ③12月2日 ④6月12日⑤3月26日					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	現時点では、ボランティアが、子育て支援できる環境に気楽に入れることの周知が課題である。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年		
度)の取組		

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する
施策の方向性	3-1地域のつながり強化
	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
お住まいの地域について 『お互いに声かけをしていると考えている』人 の割合	40.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	20.0%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

今後の方向性・取組

通番	68	所管課		子ども子育てサ-	ービス課	
事業名	ファミリー・サポート・1	ファミリー・サポート・センター事業の広報活動				
事業概要	市内の親子ひろばで、	事業広報と会員拡大	てのための登録手続き	も合わせて実施する。		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成□スキルの習得□仲間づくり□受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □高欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □なキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	親子ひろばでの 登録手続き数					
	実施					
平成26年度	実 績					
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)
年9回実施(市内親 子ひろばにて実施)	年10回実施(市内親 子ひろばにて実施					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	今後も会員拡大のため 継続実施していく必要 がある。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する
施策の方向性	3-1地域のつながり強化
	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
お住まいの地域について 『お互いに声かけをしていると考えている』人 の割合	40.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	20.0%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

今後の方向性・取組

通番	69	所管課		健康推進	課	
事業名	出前講座	出前講座				
事業概要	69-a 地域の団体からの健	東講座の依頼に対して	て、保健師・栄養士・歯	科衛生士が出向いて請	靠座を実施する	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	講座の受講者に対し てアンケートを行う					
	未実施					
平成26年度			実績			平成31年度 (目標値)
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	
年5回実施	年15回実施					年5回以上実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	引き続き、要望に 合った講座の開催を していく。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する
施策の方向性	3-1地域のつながり強化
	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
お住まいの地域について 『お互いに声かけをしていると考えている』人 の割合	40.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	20.0%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

今後の方向性・取組

通番	69	所管課		子ども子育て事業詞	果(保育園)	
事業名	出前講座	出前講座				
事業概要	69-b 健康推進課の親支援	9-b 建康推進課の親支援グループ時に保育、手遊び、ふれあい遊びを通して母の不安軽減と母子の愛着促進を促す。				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報技 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	アンケート					
	未実施	未実施				
平成26年度			実 績			平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
月1回実施	月一回実施					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	地域のつながりを強化 する方法を精査し, 促し ていく必要がある。					

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する
施策の方向性	3-1地域のつながり強化
	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
お住まいの地域について 『お互いに声かけをしていると考えている』人 の割合	40.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	20.0%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

今後の方向性・取組

平成27年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	レの習得
事業概要 69-c 市政についての学習会を開催する場合,市から関係職員を講師として派遣。 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度	目標) 習得・情報 の形成 レの習得
事業概要 市政についての学習会を開催する場合,市から関係職員を講師として派遣。 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度 平成30年度 平成31年度 単知識習得・情報提供 供 口意欲の形成 口意欲の形成 口意欲の形成 ロスキルの習得 ロスキルの習得 ロスキルの習得 ロル間づくり ロスキルの習得 ロル間づくり ロル間での ロスキルの習得 ロルー間での ロスキルの習得 ロスキルの習得 ロルー間での ロスキルの習得 ロスキルの習得 ロルー間での ロスキルの習得 ロスキルの習得 ロルー間での ロスキルの習得 ロルー間での ロスキルの習得 ロルー間での ロスキルの習得 ロスキルの ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロ	目標) 習得・情報 の形成 レの習得
取組区分の実績 世 知識習得・情報提供	目標) 習得・情報 の形成 レの習得
取組区分の実績	の形成 レの習得
モニタリング方法 開催状況把握 と実施	
未実施	
平成26年度	平成31年度
(現状値) 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 (実績値)	目標値)
	括支援セン 連携して継続
「働き盛り」世代等への取組	
	子時(平成 き)の達成状 況
・ 地域とのつながりの中で、地域包括支援センターが出張講座の開催を実施する。	

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ,後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する
施策の方向性	3-1地域のつながり強化
	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
お住まいの地域について 『お互いに声かけをしていると考えている』人 の割合	40.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	20.0%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

今後の方向性・取組

,						
通番	70	所管課		協働コミュニラ	ティ課	
事業名	地域·団体交流会					
事業概要	市民活動センターに登がら、相互交流を図る		こ加えて, 市民や自治会	会町内会, 商店会など(こも声をかけて,地域の	の課題を出し合いな
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (世間意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	アンケート					
	未実施					
		L	実績	l.	L	
平成26年度 (現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)
年1回開催	事業概要に即した事業としては開催していない。従来の市民活動センター団体交流会としての『こらばはサロン』を5回開催した。					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	交流会実施に際して、 参加しやすさ、身近に 交流できるように取り組 んで行く					
	前期計画(H27~3	1) (0)				

	取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する
施策の方向性	3-1地域のつながり強化
	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
お住まいの地域について 『お互いに声かけをしていると考えている』人 の割合	40.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	20.0%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

今後の方向性・取組

通番	71	所管課		協働コミュニラ	ティ課						
事業名	自治会 町内会連絡会	<u>.</u>									
事業概要	現在協働コミュニティ	在協働コミュニティ課で把握している市内130弱の自治会・町内会の会長を対象として,連絡調整及び情報提供を行っている。									
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)					
取組区分の実績	■知識習得・情報提 供 □意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 円意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり					
モニタリング方法 と実施	出席者へのアンケート										
	実施										
平成26年度		平成31年度									
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)					
市内2か所で年3回 計6回開催	市内2か所で年3回, 計5回開催(第3回は 講演会形式で1回の み)					継続して実施					
「働き盛り」世代等 への取組											
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況					
今後の課題	地域の高齢化により自 治会の運営が難しく なっている。また、自治 会加入率の改善が必 要となっている。										
_		1) (0)									
	前期計画(H27~31)の 前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと										

	取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ,後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(平成28年度)										
基本目標	基本目標 3 地域の中で健康づくりを活性化する									
施策の方向性	3-1地域のつな	3-1地域のつながり強化								
施策の目標	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。									
	指標	平成26年(現	状値)	平成36年(目標値)	考え方					
お住まいの地域に 『お互いに声かけ? の割合	こついて をしていると考えてい	る』人 40.7%		73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値					
『地域活動やボラ』 らない人』の割合	ンティア活動等につい	で知 20.0%		10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値					
				今後の方向性・取	組					
	らける「共に支える地域 るよう支援していきま		考慮し	, 保健・医療の関係	を団体などの協力も得て,地域とのつながりを強めながら,健康づく					
通番	72	所管課	管課協働コミュニティ課							
事業名	地域センターまつり(5館)								
事業概要	子どもから高齢者までを対象に地域センターまつりを実施し、ダンスや健康体操などの利用団体が日頃の活動の成果を発表するとともに、あまり地域センターを利用しない世代も含め、多世代交流の場とする。									

通番	72	所管課	協働コミュニティ課							
事業名	地域センターまつり(5館)								
事業概要		子どもから高齢者までを対象に地域センターまつりを実施し、ダンスや健康体操などの利用団体が日頃の活動の成果を発表すると もに、あまり地域センターを利用しない世代も含め、多世代交流の場とする。								
取組区分の実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)				
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □末半ルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり				
モニタリング方法 と実施	実施回数等の把握									
	実施		☆ #							
平成26年度 (現状値)		1	実績	I	亚芹01左左	平成31年度				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)				
5館各年1回実施	各館年1回継続実施 (5館)					継続して実施 (6館)				
「働き盛り」世代等 への取組										
各年度末までの 進捗状況評価	 目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況				
今後の課題	地域センターまつり未実施の本町・南町地域センターについて、利用者協議会等を立ち上げ、地域センターまつりを実施し、地域センター全館でまつりを目指す。									
	前期計画(H27~3	31)0)	T (/// HD=1 = /					
	取組に対する評		画(H27~31)の取組手法	に対する評価を踏まえ、	後期計画(H32~36)に反	は映すべきこと				
前期計画(平成27~3	11年									

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年		
度)の取組		

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する
施策の方向性	3-1地域のつながり強化
	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
お住まいの地域について 『お互いに声かけをしていると考えている』人 の割合	40.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	20.0%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

今後の方向性・取組

=											
通番	73	所管課			協働コミュニラ	ティ課					
事業名	内藤地域センターだよりの発行										
事業概要		内藤地域センター利用者協議会に協力して,広報紙を発行し,利用団体の日常の活動等を広く地域に紹介する。また,他の地域センターでも広報紙の発行を検討する。									
	平成27年度	平成28年度	Ę	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)				
取組区分の実績	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり				
モニタリング方法 と実施	発行回数等の把握										
	実施										
亚宁尔东东	実 績										
平成26年度 (現状値)	平成27年度	平成28年度	ŧ	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)				
年1回	年1回発行 (1館)						継続して実施 (6館)				
「働き盛り」世代等 への取組	_										
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。						前期終了時(平成 31年度)の達成状 況				
今後の課題	地域センターだより未 発行の5館について, 来年度以降は1館ずつ 増やし,最終的には全 館で発行する。										

	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年 度)の取組		

	基本目標		3 地域の中で健康	東づくりを活性化する							
	施策の方向性	ŧ	3-2地域での健康	でい活動の支援							
	施策の目標		スポーツ活動や高	5民活動を行っている	民活動を行っている団体(人)を増やす						
		指	 標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)		 考え方				
		_	-	-	-		-				
			今後の方向性・取組								
	団体同士の交流権 援します。	幾会の	の提供や, 団体の	活動情報の提供・発信		建康づくりを行う団体の	活動を様々な関係機関	関と連携しながら支			
	通番		74	所管課		高齢者相談	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
	事業名	自主				1-181 11 11 11					
	事業概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	を接総合事業の中での)取組, 連携。						
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)			
	取組区分の実績	供口意口が口付	n識習得・情報提 なの形成 キルの習得 p間づくり をけ皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 世意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得·情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり			
	モニタリング方法 と実施	と実施									
			実施		<u> </u> 実績						
	平成26年度 (現状値)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)			
	未実施	民運	養予防に資する住 運営活動状況に関 アンケートを実施 。					平成29年度までに 検討, 開始し、継続 して実施			
Γ	働き盛り」世代等 への取組										
	各年度末までの 進捗状況評価							前期終了時(平成 31年度)の達成状 況			
介護予防に資する取組みをしている団体との懇談会を定期的に実施し、介護保険サービスへの参画を目指してもらよう働きかける必要がある。											
			前期計画(H27~3		I(U27~21)	に対する部体を吹せる	※ 期計画(U20 - 20)/=5	このオペキニト			
Ħ	前期計画(平成27~3 度)の取組	31年	取組に対する評		型(円21~31)の取組手法	:に対する評価を踏まえ、	逐期計画 (H32~36) にた	く吹り へさこと			

基本目標	3 地域の中で健康	東づくりを活性化する				
施策の方向性	生 3-2地域での健康	東づくり活動の支援				
施策の目標	スポーツ活動やi	市民活動を行っている	団体(人)を増やす			
	指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)		考え方	
	-	-	-		-	
			今後の方向性・取約	1		
団体同士の交流権 援します。	機会の提供や, 団体の	活動情報の提供・発信	言など,地域における(健康づくりを行う団体の	活動を様々な関係機関	関と連携しながら支
通番	75	所管課		協働コミュニラ	ティ課	
 事業名	地域センター登録団体	 本の管理				
事業概要	地域センター6館を利	用する登録団体の情幸	服を管理し、要望に応	じて当該団体の了解の	もと公開する。	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 世意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	登録団体数等の把 握					
	実施					
平成26年度			実 績 平成31年度			平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	(実績値)	(目標値)
未実施	未実施					平成27年度以降開始し、継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	現在、団体登録は任意で行っているが、多くの団体が登録しており、その情報は入金幣 望者等に選集しており、今間等に入金幣 望者等に選集してあるが、公開までで記っ に出って、団体を動が必須となるので、こ れに合わせて公開に向けて団体の理解を得 ることとする。					
	前期計画(H27~3		II (U27~21) の取組手は	に対する評価を踏まえ、	後期計画(U22~√26) /⊏F	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
前期計画(平成27〜3 度)の取組	取組に対する評	価別物計画	2(11277~31707収和于法	い〜刈り 句計 脚で始まえ、	交が計 四 (FI32~30) こ 5	uny nece

基本目標	3 地域の中で健康	東づくりを活性化する				
施策の方向性	生 3-2地域での健康	受づくり活動の支援				
施策の目標	スポーツ活動やす	や市民活動を行っている団体(人)を増やす				
	指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)		考え方	
		-			-	
				45		
団体同士の交流 援します。	機会の提供や, 団体の	活動情報の提供・発信	今後の方向性・取得 など、地域における	阻 健康づくりを行う団体の	活動を様々な関係機関	関と連携しながら支
12007						
通番	76	所管課		協働コミュニラ	= ,==	
				加 リーミユーラ	「1 i未 	
事業名	利用者協議会や交流	会 ————————————————————————————————————				
事業概要	地域センター6館にお	いては,様々な利用団	体の交流等の場とし	て利用者協議会や交流	会を実施する。	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□ □ 知識習得・情報提供 □ 意欲の形成 □ スキルの習得 □ 中間づくり □ 受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	利用者協議会等の 開催回数の把握					
	実施					
平成26年度			実績		平成31年度	平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	(実績値)	(目標値)
6館にて実施, 利用 者同士の連携を 図った.	利用者協議会等を実 施した。(5館)					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	利用者協議会が未設置である本町・南町地域センターについて、利用者協議会を立ち上げるよう利用団体等に呼びかけを引き続き行う。残る5館については、継続して実施する。					
	前期計画(H27~3	1)の	i (⊔27~21) 介 研织工ご	ヒに対する証価を吹する	後期計画(⊔22~26) /=5	こいまべき こし
	取組に対する評		ュ(ロ2/~31/の取組手法	法に対する評価を踏まえ 、	友州計画(H3Z~36) に方	くべりつさこと
前期計画(平成27~3 度)の取組	31年					

	基本目標	3	地域の中で健康	ーーー 使づくりを活	性化する						
	施策の方向性	E 3	−2地域での健康	でくり活動	の支援						
	施策の目標	7	スポーツ活動や市民活動を行っている団体(人)を増やす								
		指標		亚成26	6年(現状値)	平成36年(目標値)		考え方			
				1 /22	_	- L MAN (-			
						今後の方向性・取締	, a				
	団体同士の交流権援します。	幾会の	提供や,団体の	活動情報の)提供•発信	7 27 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	建康づくりを行う団体の	活動を様々な関係機関	目と連携しながら支		
	通番		★ 77	所管課			協働コミュニュ	ティ課			
	事業名	市民活	舌動フェスティバ	ル	'						
	事業概要					行委員会形式でフェス 「参加し易い内容を企	くティバルを開催する。 ⁴ 画運営している。	軍々参加団体や来場 者	が増えており 地域		
		ㅋ	平成27年度	平成2	8年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)		
	取組区分の実績	供 □意谷 □スキ ■仲間	戦習得・情報提 次の形成 Fルの習得 引づくり ナ皿づくり	□知識習4 供 □意欲の 1 □スキルの □仲間づく □受け皿で	D習得 (り	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得·情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり		
	モニタリング方法 と実施		_								
			未実施								
	平成26年度		実績 平成31年度								
	(現状値)	ম	平成27年度	平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)		
	年1回開催	ź	年1回開催						継続して実施		
١	働き盛り」世代等 への取組		未実施								
	各年度末までの 進捗状況評価	目標	どおり進行して いる。						前期終了時(平成 31年度)の達成状 況		
	今後の課題	参加団体を幅広く呼び 掛けられるよう協議す る。									
	前期計画(H27~31)の 前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと										
Ē	前期計画(平成27~3 度)の取組	L.	取組に対する評		11 期計世	』(H2/~31)の取組手法	対之対 9 句評価を踏まえ、	後朔計画(H32~36)に反	【咲 9 へさこと		

基本目	標	3 地域の中で健康	東づくりを	活性化する				
施策の方	向性	3-2地域での健康	でくり活動	動の支援				
施策の目	目標	スポーツ活動やす	市民活動を	を行っている	団体(人)を増やす			
	指		平成	26年(現状値)	平成36年(目標値)		考え方	
		_		-	-		_	
					 今後の方向性・取:	6 В		
団体同士の交援します。	を流機会	の提供や、団体の	活動情報	の提供・発信		健康づくりを行う団体の	活動を様々な関係機関	目と連携しながら支
通番		78	所管護	Į		スポーツ振り	租課	
	7.7			N		7(1, 7)M3	-CUA	
事業概要		ポーツ登録団体の		た指定管理	者が行う。			
		平成27年度	平成	28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分の実績	積 供 口 に に に に に に に に に に に に に に に に に に	知識習得・情報提 意欲の形成 スキルの習得 中間づくり 受け皿づくり	□知識習供 □意欲の □スキル □中間□)形成 ・の習得 ぶくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	! □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □中間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方 と実施		体登録者へのアン rート調査の実施						
		未実施 			中华			
平成26年度 (現状値)		平成27年度	平成	 28年度	実 績 平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)
スポーツ登録団 数 418団体 (平成26.11.15 在)	446 (平 在)	ポーツ登録団体数 6団体 ・成27年度末現						継続して実施
「働き盛り」世代 への取組	等							
各年度末まで 進捗状況評価		標どおり進行して いる。						前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	やす	录団体に対する減免 写料化など団体登録 售のあり方						
		前期計画(H27~3		前期計画		まに対する評価を踏まえ,	後期計画(H32~36)にR	で映すべきこと
前期計画(平成2 度)の取約		取組に対する評	100			2		

	基本目標	3 地域の中で健康	3 地域の中で健康づくりを活性化する						
	施策の方向性	3-2地域での健康	受づくり活動の支援						
	施策の目標	スポーツ活動やア	スポーツ活動や市民活動を行っている団体(人)を増やす						
		指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)		考え方			
		-	-	-		-			
				今後の方向性・取締	組				
	団体同士の交流権援します。	機会の提供や, 団体の	活動情報の提供・発信		建康づくりを行う団体の	活動を様々な関係機関	関と連携しながら支		
	'ጃ ሞ	45(T)	正体部		()	===			
	通番	45(再)	所管課		健康推進	沬			
	事業名	体育館等個人開放・日	団体貸出し						
		45-a いきいきセンター管理	運営(指定管理)し, 市	5民の健康増進活動の	り場を提供する。				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)		
	取組区分の実績	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり		
	モニタリング方法 と実施	指定管理モニタリングチェック及び利用 者アンケート							
		実施		 実績					
	平成26年度 (現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)		
l	\きいきセンター団 体登録数 35団体	いきいきセンタ一団 体登録数 37団体					継続して実施		
Г	動き盛り」世代等 への取組								
	各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況		
	今後の課題	施設利用率の向上							
	前期計画(H27~31)の 前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと								
Ē	前期計画(平成27〜3 度)の取組	取組に対する評	他 のジジジュービ	STANDER THE		MANUEL WOOLED			

Ш								
	基本目標	3 地域の中で健	康づくりを活性化する					
	施策の方向性	3-2地域での健	東づくり活動の支援					
	施策の目標	スポーツ活動や	市民活動を行っている	団体(人)を増やす				
		指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)		考え方		
		_	-	-		-		
				今後の方向性・取				
	団体同士の交流が 援します。	機会の提供や, 団体 <i>0</i>)活動情報の提供・発信	言など,地域における	健康づくりを行う団体の	活動を様々な関係機関	慰と連携しながら支	
		Γ						
	通番	45(再)	所管課		スポーツ振り	興課		
	事業名	体育館等個人開放•	団体貸出し					
	事業概要	45-b 市内体育施設を維持	・管理し,市民に活動の	場を提供する。				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)	
取組区分の実績	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	型 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり		
	モニタリング方法 と実施	施設利用者へのアンケート調査	,					
		未実施						
	平成26年度	実績 平成31年度 平成31年度 (日)						
	(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	(実績値)	(目標値)	
"	施設(市民スポー /センター, 市民ひ かりスポーツセン 一, 市民室内プー ル)	3施設 (市民スポーツ センター, 市民ひかり スポーツセンター, 市民室内プール)					継続して実施	
Γ	働き盛り」世代等 への取組							
	各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況	
	今後の課題	施設のバリアフリー化 今後の課題 を踏まえた大規模改修 が必要である。						
		前期計画(H27~	31)の	〒(H27~31) 介町組壬:	去に対する評価を踏まえ、	後期計画(H22~26)!==	5映すべきこと	
		取組に対する記	平価 削粉計性	当(川2/~31/の取組手)	ムーシッの計画で始まれ、		(吹り、CCC	
Ħ	前期計画(平成27〜3 度)の取組	31年						

	基本目標		3 地域の中で健康	東づくりを活性化する					
	施策の方向性	ŧ	3-2地域での健康	₹づくり活動の支援					
	施策の目標		スポーツ活動やア	市民活動を行っている	団体(人)を増やす				
		指	 標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)		 考え方		
		_	-	-	-		-		
				·	今後の方向性・取締	1			
	団体同士の交流権 援します。	幾会の	の提供や, 団体の	活動情報の提供・発信	言など,地域におけるの	建康づくりを行う団体の	活動を様々な関係機関	関と連携しながら支	
	通番		45(再)	所管課		公民館調	1		
	事業名	体育		 団体貸出し					
	事業概要	45-c 公民	c 品館施設の貸出し						
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)	
	取組区分の実績	供□意□ス□件	1識習得・情報提 然の形成 キルの習得 P間づくり とけ皿づくり	□知識習得・情報提供 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	
	モニタリング方法 と実施	,	利用者懇談会						
-			<u> </u>	実績					
	平成26年度 (現状値)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)	
	25,000件 身体活動・運動で D内訳利用数は不 明)		25.548件 体活動・運動での R利用数は不明)					25,000件 (身体活動・運動で の内訳利用数は不 明)	
Γ	働き盛り」世代等 への取組								
	各年度末までの 進捗状況評価	目標いる	ぎおり進行して 。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況	
	今後の課題	健動行把	用グループの中で,体操等の身体活 重動で学習・活動を ているグループのについて研究するが望ましい。						
			前期計画(H27~3		〒(H27~21)の〒知年計	に対する評価を踏まえ、	後期計画(□22~26)/=-5	5.映すべきこと	
育	前期計画(平成27~3 度)の取組	31年	取組に対する評	価 削粉計區	2 (11277-137) 074X和日子725	いーパソ る計画で聞みた。		CONT TOLL	

	基本目標	3 地域の中	で健康づい	くりを活性化する				
	施策の方向性	1-2地域での	健康づく	り活動の支援				
	施策の目標	スポーツ活動	かや市民	活動を行っている	団体(人)を増やす			
I		指標		平成26年(現状値)	平成36年(目標値)		考え方	
		_		-	-		-	
					今後の方向性・取締	kn		
	団体同士の交流権 援します。	機会の提供や, 団	体の活動	情報の提供・発信		建康づくりを行う団体の	活動を様々な関係機関	慰と連携しながら支
		45(再)	Ē	近 近 に に に に に に に に に に に に に		地域福祉	果	
		体育館等個人開				-0-%	иг	
	事業概要	45-d 福祉センターの貸		··				
		平成27年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
I	取組区分の実績	□知識習得・情報 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	供口が	知識習得・情報提 意欲の形成 スキルの習得 中間づくり 受け皿づくり	□知識習得・情報提供 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
П	Eニタリング方法 と実施	指定管理者によ 用者アンケー 実施						
		大 旭			<u> </u> 実績			
	平成26年度 (現状値)	平成27年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)
(1	2.916件 (平成25年度) 身体活動・運動で 内訳利用数は不 明)	3,235件 (身体活動・運動 内訳利用数は不						3,000件
Γ	動き盛り」世代等 への取組							
	各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行 いる。	して					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
	利用しやすい環境づく 今後の課題 りに向けて指定管理者 と協議していく。							
				### #P = Lize	II (山27~21) の取出せ	ヒに対する証/年を吹せる	後期計画(U2026)/ □□	
前	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価 前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと 前期計画(平成27~31年度)の取組 (平成27~31年度)の取組					く吹り へさこと		

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-2身体活動•運動
施策の目標	1日に歩く時間を増やす

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の 人の割合	23.7%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする

今後の方向性・取組

少しでも体を動かすこと,時間が無い人でも隙間時間で行える歩くことをはじめとした運動の普及を行います。だれもが気軽に運動に取り組めるよう支援します。

17.00		-r 44		1+ M	- -m				
通番 ————————————————————————————————————	45	所管課 協働コミュニティ課							
事業名	体育館等個人開放・団体貸出し								
事業概要	45-e 地域センター6館及び								
取組区分の実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)			
	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報が 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	是 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報 提供 □窓欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり			
モニタリング方法 と実施	利用率等の把握								
	実施								
平成26年度	実 績								
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)			
全7館で実施	全7館で継続して実施					継続して実施			
「働き盛り」世代等 への取組									
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況			
今後の課題	地域センターについては、利用率や利用者等は微増している。引き続き利用促進を推進して行く。								

	利 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年		
度)の取組		

基本目標	4 適切な情報を得られる環境づくりをすすめる
	4-1対象者·年齢層に応じた情報の発信 4-2社会状況やニーズに応じた適切な情報内容
施策の目標	対象者に合わせた情報が行き渡る

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
健康づくりや保健医療に関する情報を得て	『市広報紙』 29.1%	80%	ほとんどの人が情報を得ている状況と考えられる数値
いる人の割合	『市ホームペー ジ』 2.3%	50%	特に若い世代において、情報を得やすい環境となったと判断できる数値

今後の方向性・取組

市民が必要とする正確な情報を把握・収集し、必要とする市民や地域の団体等に届け、必要な市民や団体が適時受け取ることができる環境を整えていきます。

通番	79	所管課		各課		
事業名	情報発信					
事業概要		ツイッターなどの情報: ターネットの活用を充		合わせて健康づくりに	関する情報を発信して	いく。若い世代・働き
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分	■知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 団意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	ホームページ等を閲 覧した人からの感想 等を集約する 未実施					
	个 天心					
平成26年度 (現状値)	 平成27年度	平成28年度	実 績 平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標値)
	市報, ホームページ, ツイッターで情報発 信を実施				(実績値)	継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	アプリの開発等, 情報発信のチャンネルを増加させることが課題である。					
	前期計画(H27~3	1) (1)				
新州弘西/亚代27 · 2	取組に対する評		回(H27~31)の取組手法 	に対する評価を踏まえ、	後期計画(H32~36)に反	え映すべきこと

	利期計画(H2/~31)の 取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27〜31年 度)の取組		

基本目標	4 適切な情報を得られる環境づくりをすすめる
	4-1対象者・年齢層に応じた情報の発信 4-2社会状況やニーズに応じた適切な情報内容
施策の目標	対象者に合わせた情報が行き渡る

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
健康づくりや保健医療に関する情報を得て	『市広報紙』 29.1%	80%	ほとんどの人が情報を得ている状況と考えられる数値
いる人の割合	『市ホームペー ジ』 2.3%	50%	特に若い世代において、情報を得やすい環境となったと判断できる数値

今後の方向性・取組

通番	79	所管課		各課		
事業名	情報発信					
事業概要		市報,ホームページ,ツイッターなどの情報媒体を使い,対象者に合わせて健康づくりに関する情報を発信していく。若い世代・働き 盚り世代に対してインターネットの活用を充実させる。				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	アンケート					
	未実施					
平成26年度			実 績			亚式01年度
平成20年度 (現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	- 平成31年度 (目標値)
市報, ホームページ, ツイッターで情報発信を実施	市報, ホームページ, ツイッターで情報発 信を実施					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	伝達すべき情報の精査 と回数を増やす必要が ある。					
		11/0				
*****	前期計画(H27~31)の 取組に対する評価 前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと					

	取組に対する評価	前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと
前期計画(平成27~31年		
度)の取組		

基本目標	4 適切な情報を得られる環境づくりをすすめる
	4-1対象者・年齢層に応じた情報の発信 4-2社会状況やニーズに応じた適切な情報内容
施策の目標	対象者に合わせた情報が行き渡る

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
健康づくりや保健医療に関する情報を得て	『市広報紙』 29.1%	80%	ほとんどの人が情報を得ている状況と考えられる数値
いる人の割合	『市ホームペー ジ』 2.3%	50%	特に若い世代において、情報を得やすい環境となったと判断できる数値

今後の方向性・取組

市民が必要とする正確な情報を把握・収集し、必要とする市民や地域の団体等に届け、必要な市民や団体が適時受け取ることができる環境を整えていきます。

	1					
通番	79	所管課		各課		
事業名	情報発信					
事業概要		ツイッターなどの情報! ターネットの活用を充		合わせて健康づくりに	関する情報を発信して	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)
取組区分	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 円意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 四意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施						
	未実施					
平成26年度	実績					平成31年度
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	(目標値)
市報、ホームページ、ツイッターで情報発信を実施	市報・ホームページ で情報を発信					継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況
今後の課題	情報を発信しても、受け手側がホームページ を見ることができない事があるので様々な手段を使って発信していくことが必要である。					
	前期計画(H27~3	1)の ***	-/		// Hn=1 = /	L > L - 1
	取組に対する評		』(H27~31)の取組手法	に対する評価を踏まえ、	後期計画(H32~36)に反	は映すべきこと

基本目標	4 適切な情報を得られる環境づくりをすすめる
	4-1対象者・年齢層に応じた情報の発信 4-2社会状況やニーズに応じた適切な情報内容
施策の目標	対象者に合わせた情報が行き渡る

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
健康づくりや保健医療に関する情報を得て	『市広報紙』 29.1%	80%	ほとんどの人が情報を得ている状況と考えられる数値
いる人の割合	『市ホームペー ジ』 2.3%	50%	特に若い世代において、情報を得やすい環境となったと判断できる数値

今後の方向性・取組

通番	79	所管課		各課				
事業名	情報発信							
事業概要	市報,ホームページ,ツイッターなどの情報媒体を使い,対象者に合わせて健康づくりに関する情報を発信していく。若い世代・働き盛り世代に対してインターネットの活用を充実させる。							
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)		
取組区分	■知識習得・情報提供 供口意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	イベントや講習会の参加者へ情報源の聞き取り(アンケート)							
	実施							
- 0-0			実績			TI #04 # #		
平成26年度 (現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)		
市報, ホームページ, ツイッターで情報発信を実施	毎月市報,ホームページ、ツァックでは、カージ、ツァックででは、カーダの公共機関・保育所・幼稚園・医師会等でポスター掲示やチラシを配架や配布。					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況		
今後の課題	より参加意欲に繋が る紙面を作成。							
	前期計画(H27~3		画(H27~31)の取組手法	- 一対する評価を踏まえ	後期計画(H32~36)にF			
前期計画(平成27〜3 度)の取組	取組に対する語	<u>i</u> 価	当(1127 - 31) 074次和于人	ころり の計画と唱みん。		CIX 9 · \CLC		

基本目標	4 適切な情報を得られる環境づくりをすすめる
	4-1対象者・年齢層に応じた情報の発信 4-2社会状況やニーズに応じた適切な情報内容
施策の目標	対象者に合わせた情報が行き渡る

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
健康づくりや保健医療に関する情報を得て	『市広報紙』 29.1%	80%	ほとんどの人が情報を得ている状況と考えられる数値
いる人の割合	『市ホームペー ジ』 2.3%	50%	特に若い世代において、情報を得やすい環境となったと判断できる数値

今後の方向性・取組

市民が必要とする正確な情報を把握・収集し、必要とする市民や地域の団体等に届け、必要な市民や団体が適時受け取ることができる環境を整えて いきます。

通番	79 所管課 各課								
事業名	情報発信								
事業概要	市報、ホームページ、ツイッターなどの情報媒体を使い、対象者に合わせて健康づくりに関する情報を発信していく。若い世代・働き盛り世代に対してインターネットの活用を充実させる。								
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)			
取組区分	■知識習得・情報提供 (世間では、一意欲の形成 ・日本のでは、一日のでは、日本のでは、	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり			
モニタリング方法 と実施	情報の発信回数								
	未実施								
平成26年度		平成31年度							
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	・ 平成31年度 (目標値)			
市報, ホームペー ジ, ツイッターで情 報発信を実施	市報、ホームページ、ツイッターで情報発信を実施					継続して実施			
「働き盛り」世代等 への取組									
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況			
今後の課題	ツイッターを活用し情報 発信を進めていく								
	1 2 ##=1 == ///	1) 0							
前期計画(H27~31)の 取組に対する評価 前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと									

前期計画(平成27~31年 度)の取組

基本目標	4 適切な情報を得られる環境づくりをすすめる
	4-1対象者·年齢層に応じた情報の発信 4-2社会状況やニーズに応じた適切な情報内容
施策の目標	対象者に合わせた情報が行き渡る

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
健康づくりや保健医療に関する情報を得て	『市広報紙』 29.1%	80%	ほとんどの人が情報を得ている状況と考えられる数値
いる人の割合	『市ホームペー ジ』 2.3%	50%	特に若い世代において、情報を得やすい環境となったと判断できる数値

今後の方向性・取組

市民が必要とする正確な情報を把握・収集し、必要とする市民や地域の団体等に届け、必要な市民や団体が適時受け取ることができる環境を整えていきます。

通番	80	所管課		健康推進	課			
事業名	情報集約							
事業概要	健康づくりに取り組む地域活動団体や食育に関する団体、自主グループなどの情報を集約し、市民・団体に発信していく。							
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)		
取組区分	■知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 供□意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (世間では、一意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	各団体からの意見集 約							
	未実施							
平成26年度	実 績							
(現状値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)		
未実施	未実施					健康づくりに関する 活動・団体の情報 を集約し、発信		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況		
今後の課題	健康つくりに取り組む 地域活動団体や食 育に関する団体、自 主グループ等の情報 を集約する必要があ							
	前期計画(H27~3	1) ①						
前期計画(H27~31)の 取組に対する評価 前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏まえ、後期計画(H32~36)に反映すべきこと								

前期計画(平成27~31年 度)の取組

基本目標	4 適切な情報を得られる環境づくりをすすめる
	4-1対象者・年齢層に応じた情報の発信 4-2社会状況やニーズに応じた適切な情報内容
施策の目標	対象者に合わせた情報が行き渡る

指標	平成26年(現状値)	平成36年(目標値)	考え方
健康づくりや保健医療に関する情報を得て	『市広報紙』 29.1%	80%	ほとんどの人が情報を得ている状況と考えられる数値
いる人の割合	『市ホームペー ジ』 2.3%	50%	特に若い世代において、情報を得やすい環境となったと判断できる数値

今後の方向性・取組

通番	80(2) 防管課 協働コミュニティ課							
事業名	情報集約							
事業概要	健康づくりに取り組む	地域活動団体や食育	に関する団体、自主グ	ループなどの情報を集	系約し、市民・団体に発	信していく。		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度 (目標)		
取組区分	■知識習得・情報提供 供 □ スキルの習得 □ 仲間づくり □ 受け皿づくり	□知識習得・情報提供 供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 (円) 意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報 提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり		
モニタリング方法 と実施	アンケート							
	未実施					平成31年度 (目標値)		
平成26年度 (現状値)		T-*00/T-#		T-100 F F	平成31年度			
(多形區)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	(実績値)	(日1末旧/		
・団体交流会年1回 ・国分寺市民活動 センター登録団体 情報誌発行 ・ホームページで情 報発信	・合同団体交流会年1回 ・こらばdeサロン年5回・こらばdeサロン年5回・国分寺市民活動センター登録団体情報誌発行・ホームページで情報発信					継続して実施		
「働き盛り」世代等 への取組								
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。					前期終了時(平成 31年度)の達成状 況		
今後の課題	様々な媒体を利用し情 報発信する。							
	前期計画(H27~3		前(H27~31)の取組手 注	に対する評価を踏ます。	後期計画(H32~36)1-F	ではなること		
前期計画(H27~31)の取組手法に対する評価を踏 前期計画(平成27~31年 度)の取組			に入って 句計 間で 頃まん。1	区が61 四 (N32・- 30) にか	W. 7. 19 C. C.			